

KENWOOD

ステレオ ミニディスクレコーダー

DMF-7003
DMF-7003G

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

KENWOOD CORPORATION



B60-4166-00 00 (JA) (J) MC 9808

2 本機の特徴

本機は、ミニディスクフォーマットのオーディオ機器です。ミニディスク(MD)は、光および光磁気の技術を応用して、ディスクに録音できる機能を持っています。操作性についてはコンパクトディスク(CD)と同等になっています。また、光学式非接触方式のため、外部要因で録音記録が劣化するようなことがなく、再生のときもミニディスクに傷がつくようなこともありません。

高音質録音再生ができる

ビットレック プレイ ドライブ
"24 bit Rec.& Play D.R.I.V.E."

本機には"24 bit REC D.R.I.V.E."を搭載しており、CDは勿論のことチューナーやアナログプレーヤーからのアナログ録音も24 bit高音質録音ができます。

また、再生側にも"24 bit D/A converter"^{コンバーター}を搭載し、高音質再生を実現しています。
(D.R.I.V.E.:Dynamic Resolution Intensive Vector Enhancement)

サンプリング・レート・コンバーター搭載

本機にはあらゆるデジタルソース(32kHz, 44.1kHz, 48kHz)に対応したサンプリング・レート・コンバーターを搭載しています。

- 48kHz :DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。
- 44.1kHz :DATの標準モード、CD,MD等。
- 32kHz :DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

多彩な編集機能

通常の編集(MOVE、DIVIDE、COMBINE、ERASE)に加え、一度に曲順をまとめて移動できるQUICK MOVE機能や、任意の曲を簡単にERASEすることができるQUICK ERASE機能など、多彩な編集機能を搭載しています。

SOUND SYNCHRO REC 搭載

音声の入力に合わせて自動的に録音の開始、一時停止を行う"SOUND SYNCHRO REC"、"AUTO CUT"、CDが1曲終了すると自動的に録音を停止する"REC AUTO PAUSE"、約6秒前にさかのぼり録音を開始する"MEMORY REC"機能を搭載しています。

DIGITAL RECボリューム

従来、アナログ録音のときしかできなかった録音レベル調整がデジタル録音のときにもできます。さらに、フェード・イン/アウト機能があります。

タイトル・インプット

タイトル・サーチ搭載

マルチジョグダイヤルを使って簡単にタイトルが入られる"タイトルインプット"と、聴きたい曲のタイトルを確認しながら探せる"タイトルサーチ"、録音しながらCDテキストをコピーする"タイトルコピー"、よく使うタイトルをプリセットできる"プリセットタイトル"機能を搭載しています。

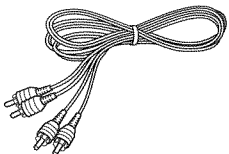
サイバー・タイトラー対応

別売のサイバー・タイトラー(CT-G90またはCT-H90)を使って、データ入力を双方向通信でやり取りして、タイトル入力やタイトル印刷およびタイトル編集などができます。

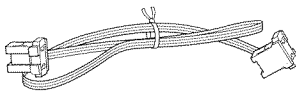
付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

オーディオコード(2本)



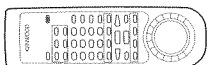
システムコントロールコード(1本)



デジタルコード(1本)



リモートコントロールユニット(1個)
(RC-M0905)



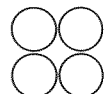
リモコン用単4乾電池(2本)



ピンスパイク(4個)



滑り止めシート(4個)



目次

⚠ のついた項目は安全確保のために必ずお読みください。

はじめに.....	2
本機の特徴.....	2
目次.....	3
⚠ 安全上のご注意.....	4
知っておきましょう.....	8
⚠ 接続のしかた.....	10
各部のなまえと働き.....	12
表示部/本体部.....	12
リモコン部.....	14
リモコンの使いかた.....	15
MD <small>ミニディスク</small> を聴く.....	16
1曲目から順に聴く.....	16
聴きたい曲をタイトルで探す (TITLE SEARCH) <small>タイトル</small>	17
聴きたい曲を選ぶ.....	18
RANDOM再生するには.....	18
プログラムのしかた.....	20
曲順を自由にプログラムする.....	20
繰り返し聴く (REPEAT) <small>リピート</small>	22
便利な録音関連キーの使い方.....	23
AUTO/MANU <small>オート/マニュアル</small> キーについて.....	23
MONITOR <small>モニター</small> キーについて.....	23
REC MODE <small>録音モード</small> キーについて.....	23
曲の開始に合わせて自動的に録音 (SOUND SYNCHRO REC) <small>サウンドシンクロ録音</small>	25
曲の終了に合わせて自動的に録音を一時停止 (REC AUTO PAUSE) <small>録音オートポーズ</small>	25
さかのぼって録音 (MEMORY REC) <small>メモリー録音</small>	25
録音のしかた (ANALOG) <small>アナログ</small>	26
ANALOG録音のしかた.....	26
録音のしかた (DIGITAL) <small>デジタル</small>	28
DIGITAL録音のしかた.....	28
CDとのシンクロ録音のしかた.....	30
DIGITAL録音とSCMSについて.....	30
編集機能.....	31
編集機能のタイプを選ぶ.....	31
再生中の曲を入れ換える (TRACK MOVE) <small>トラックムーブ</small>	32
曲をまとめて入れ換える (QUICK MOVE) <small>クイックムーブ</small>	34
再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE) <small>トラックディバイド</small>	36
再生中の曲をつなぐ (TRACK COMBINE) <small>トラックコンバイン</small>	38
再生中の曲を消す (TRACK ERASE) <small>トラックイレイズ</small>	40
任意の曲を消す (QUICK ERASE) <small>クイックイレイズ</small>	42
タイトル編集のしかた.....	44
CDテキスト表示とコピー.....	48
サイバー・タイトラーを使ってタイトル編集.....	49
ディスプレイ表示の切り換えかた.....	50
TIME DISPLAY <small>タイムディスプレイ</small> キーについて.....	50
METER <small>メーター</small> キーについて.....	50
タイマーを利用して.....	51
故障かな?と思ったら.....	52
保証とアフターサービス (必ずお読みください).....	55
定格.....	56

製品を安全にご使用いただくため、「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

この「安全上のご注意」には、当社の本機以外のオーディオ機器全般についての内容も記載しています。（説明項目の中には、操作説明部と重複する内容もあります。）

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為に、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容を良く理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は、注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。

図の中に具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)が描かれています。



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。

図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用・故障・その他の不具合およびこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

指定以外の電圧では使用しない



この機器は、交流100ボルト専用です。
交流100ボルト以外の電圧で使用しないでください。
《交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災、感電の原因になります》

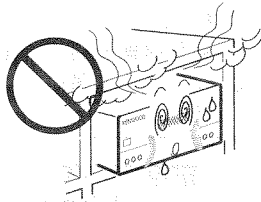
放熱に注意



設置の際は、壁から10cm以上離してください。
機器のカバー等にある穴は、放熱のための通風孔です。ふさがないように、ご注意ください。



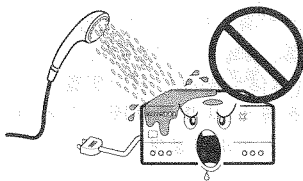
- 風通しの悪い、狭い所に押し込まない。
- 横倒し、あおむけ、逆さまに置かない。
- 布を掛けたり、じゅうたん、布団の上に置かない。
《通風孔がふさがると、内部が異常高温となり、火災の原因になります》



風呂、シャワー室では使用しない



風呂、シャワー室など、湿度の高いところや、水はねのある場所で使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》

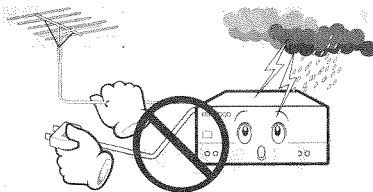


雷が鳴り始めたら



接触禁止

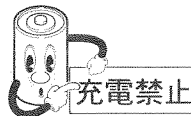
アンテナ線や電源プラグに触れないでください。
《感電の危険があります》



乾電池は充電しない



乾電池は充電しないでください。
《電池の破裂、液漏れにより、火災や、けがの原因になります》



異常が起きた場合は



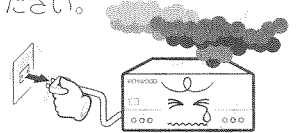
煙が出たり、変な臭いや音がする場合、機器の使用を中止してください。

《火災や感電の危険があります》

- 直ちに電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 煙や、異臭、異音が消えたのを確かめてから修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜け



電源コードの取扱い

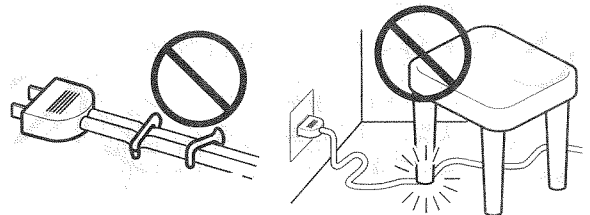


電源コードを傷つけないでください。無理な曲げ、ねじり、引っ張りや、加熱、加工などを加えないよう、ご注意ください。

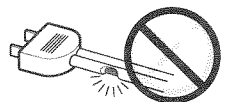


電源プラグをコンセントに接続するときは、次のことに十分ご注意ください。

- 電源コードの上に機器本体や、重いものを置かない。
- 敷物の下に電源コードを隠さない。
- 電源コードをステーブルや釘などで固定しない。
- 足を引っ掛ける恐れがある配線をしない。
《コードが傷つき、火災や感電の原因になります》



電源コードが傷ついたら（芯線の露出や断線など）使用しないでください。
《火災や感電の危険があります》



- 修理をご依頼ください。

機器の内部に水を入れない



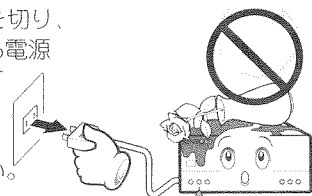
水ぬれ禁止

花瓶やコップなど水のいった容器を機器の上に置かないでください。内部に水が入った場合、機器の使用を中止してください。
《火災や感電の危険があります》



電源プラグをコンセントから抜け

- 電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 点検、修理をご依頼ください。



機器の内部に異物を入れない

内部に異物が入った場合、機器の使用を中止してください。

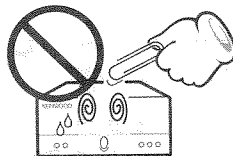
《火災や感電の危険があります》

●電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

●点検、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜け



落下した機器は使わない

落としたり、カバーやケースがこわれた機器を使用しないでください。

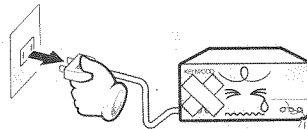
《火災や感電の危険があります》

●電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

●点検、修理をご依頼ください。



電源プラグをコンセントから抜け



電池を放置しない

電池は、幼児の手の届かないところに置いてください。ボタン電池など小型の電池は特にご注意ください。

《電池を飲み込むおそれがあります》

●万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師にご相談ください。



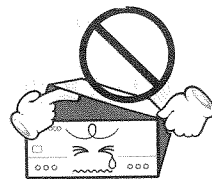
分解禁止

ケースを絶対に開けないでください

機器の裏ふた、カバーを開けたり、改造をしないでください。

《内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の危険があります》

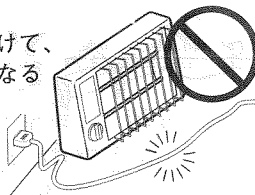
●点検、修理は販売店またはケンウッド営業所へご依頼ください。



電源コードを熱器具に近付けない

電源コードを熱器具(ストーブ、アイロンなど)に近付けないでください。

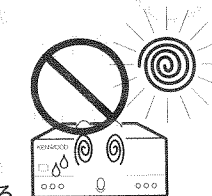
《コードの被覆が溶けて、火災、感電の原因になることがあります》



温度の高い場所には置かない

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。

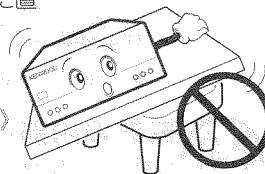
《本体や部品に悪い影響を与え、火災の原因になることがあります》



不安定な場所には置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

《落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります》



長期間使用しないときは

長期間、機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

《電源プラグをコンセントに接続したまま長期間放置すると火災の原因になることがあります》

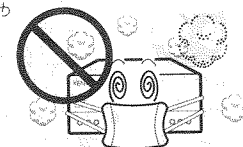


電源プラグをコンセントから抜け

湿気やほこりのある場所に置かない

油煙や湯気の当たる調理台、加湿器のそばや、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。

《火災や感電の原因になることがあります》



音量に気をつけて

はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。

《突然大きな音が出て、聴力障害の原因になることがあります》

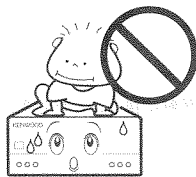
ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

《耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力障害の原因になることがあります》



機器に乗らない

お子様が機器に乗ったり、ぶら下がったりしないように、ご注意ください。
《倒れたり、こわれたりして、けがの原因になることがあります》



指をはさまない

お子様がカセットテープやディスクの挿入口に、手を入れないように、ご注意ください。
《けがの原因になることがあります》



指定以外のコードを使わない

関連機器を接続する際は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、接続には、指定のコードをご使用ください。
《指定以外のコードの使用や、コードの延長は、発熱ならびに、やけどの原因になることがあります》
●指定コードが不明の場合は、販売店にご相談ください。



電池の取扱い

電池は誤った使い方をすると、感電、破裂、発火の危険があります。
また、乾電池は液漏れにより機器を腐食させたり、手や衣類を汚す原因にもなります。
次のことを、必ず守ってください。



●極性表示(プラス "+"とマイナス"-")の向き)に注意し、表示通りに入れてください。



●指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。



●電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れてしないでください。



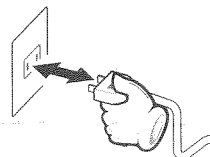
電源プラグの抜き差しは

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
《感電の原因になることがあります》

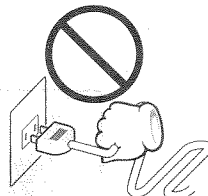


ぬれ手
禁止

電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜いてください。



コードを引っ張らないでください。
《コードの部分を引っ張ると、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります》

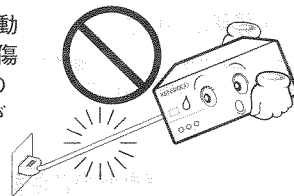


機器を移動させる際は

移動の前に、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コード(アンテナ線や機器間の接続コードなど)を、はずしてください。
《接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災、感電の原因になることがあります》

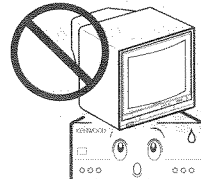


電源プラグ
をコンセント
から抜け



指定機器以外のものを乗せない

機器の上に指定機器以外の物を乗せないでください。
《乗せた物の落下により、けがをする原因になることがあります。また、乗せた物の形や重量によっては、放熱効果が悪化したり、カバーやケースが変形して、火災、感電の原因になることもあります》



電源プラグは清潔に

1年に1度くらいは、電源プラグをコンセントから抜いて清掃してください。
《電源プラグにほこりがたまると、火災の原因になることがあります》



お手入れの際は

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
《電源プラグをコンセントに接続したままの作業は、感電の原因になることがあります》



電源プラグ
をコンセント
から抜け

3年に1度程度を目安に、機器内部の点検、清掃をお勧めします。もよりの販売店、またはケンウッド営業所に費用を含めご相談ください。
《内部にほこりがたまったまま長期間使用すると、火災や故障の原因になることがあります》

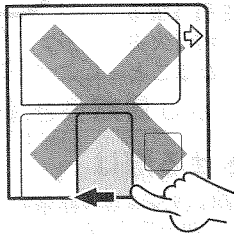
8 取扱上のご注意

ミニディスクの取り扱いかた

ミニディスクはカートリッジに入っているため、ゴミや指紋を気にしないで、手軽に扱うことができます。ただし、カートリッジの汚れやそりなどは、誤動作の原因になります。いつまでも美しい音を楽しむため、次のことにご注意ください。

ミニディスクに直接触れない

シャッターを手で開けて、ミニディスクに直接触れないでください。無理に開けるとごわれます。



置き場所について

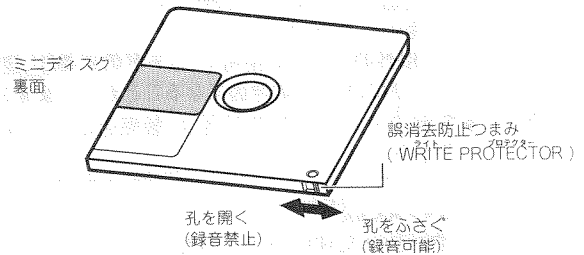
極端に温度の高いところ（直射日光の当たるようなところ）や、湿度の高いところには置かないでください。

お手入れのしかた

定期的に、カートリッジについたホコリやゴミを乾いた布でふき取ってください。

誤消去防止つまみ

録音した内容を誤って消さないためには、ミニディスクの誤消去防止つまみ（WRITE PROTECTOR）を開いた状態にしておきます。再び録音する場合は、つまみを元の状態に戻します。



輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや、移動するときは、下記の操作を行ってください。

1. ミニディスクを入れずに **POWER** キーをオンにします。
 - ミニディスクがないことを確かめます。
2. 数秒間待って、ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。
3. **POWER** キーをオフにします。

NO DISC

設置場所について

MDレコーダーは、震動に対して敏感な機器です。できるだけ震動のない場所に設置してください。

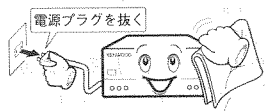
ほこり対策について

セットの中では、ミニディスクのシャッターは常に開いています。従ってミニディスクにはほこりが入るのを防ぐため、録音、再生が終わりましたら、速やかにミニディスクをセットから取り出してください。

メンテナンス

セットのお手入れ

前面パネル、ケースなどが汚れたときは、やわらかい布でからぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは変色の原因になることがありますので、ご使用にならないでください。



接点復活剤について

接点復活剤は、故障の原因となることがありますので、ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は、プラスチック部品を変形させることがあります。

参考

結露にご注意

本機と外気の温度差が大きいと、本機に水滴(露)が付くことがあります。この現象がおきますと、本機が正常に動作しないことがあります。このようなときには、本機の電源を入れた状態で、数時間放置し、乾燥させてからご使用ください。

次のような状態のときは、特に結露にご注意ください。
 気温差の大きいところへ持ち込んだときや、湿気の多い部屋など。
 これは故障ではありませんが、露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。
 本機の電源を入れた状態で、そのまま放置してください。長くて数時間で露が乾いてきます。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンスコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

ステレオ音のエチケット



楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分にいたしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。窓を閉めたり、ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

テキスト CD TEXTとは

CDの中に収録された音楽以外の文字情報(ディスク名や曲のタイトル、アーティスト名など)が表示できるように規格されたものをCD TEXT といいます。
 本機とCDプレーヤー(CD TEXT 対応)をデジタル接続することにより、CDの文字情報をMDにコピーすることができます。但し、現在はMDに文字情報をコピーできないように、CDにコピー禁止コードが入っているものもあります。この場合、文字情報をコピーすることはできません。文字情報のコピー禁止コードが入っていないCDは、"CDテキスト表示とコピー"ができます。

- 48

メモリーバックアップ

電源コンセントからプラグを抜いた状態でのメモリーの記憶時間は周囲の環境によって変化することがありますが、約3週間です。
 長期間の停電や電源プラグ抜けなどによって、録音や編集に関する情報(ミニディスク取り出し時に記録される)がミニディスクに記録される前に消滅、または破壊されることがあります。また、消えてしまった情報は回復できません。
 録音、編集後には、録音、編集の情報をミニディスクに記録するために、必ずミニディスクを取り出してください。

あなたが録音、録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、デジタル録音機器(この商品)の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。

なお、私的録音補償金に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

社団法人
 私的録音補償金管理協会
 東京都新宿区西新宿3丁目20番2号
 東京オペラシティタワー11F
 電話 (03) 5353-0336 (代)
 FAX. (03) 5353-0337

ダイナミック リゾリューション インテンシブ ベクター エンファスマント

"D.R.I.V.E." (Dynamic Resorution Intensive Vector Enhancement) システム

本機には"24 bit REC D.R.I.V.E."を搭載しており、CDは勿論のことチューナーやアナログプレーヤーからのアナログ録音も24 bit高音質録音ができます。また、デジタル入力端子はオプティカル(光)端子とコアキシャル端子を装備しており、どの機類からも高音質録音ができます。

- ① 微小信号の再現性が圧倒的に向上したことで、音楽の余韻の再現が際立ちます。しかも、安定感、臨場感、アタック音や低音の再現まで格段の違いを聴かせてくれます。
- ② D.R.I.V.E.システムは、入力信号と出力信号の音楽成分の相関性が完全に保たれ、原理的には音質の劣化は生じません。

モニター MONITOR機能

本機では、MONITORキーを使って24bit D/Aコンバーターとして使用できます。"MONITORキーについて"参照。

下図のように接続してください。
 関連システム製品を接続するときは、関連機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

注意

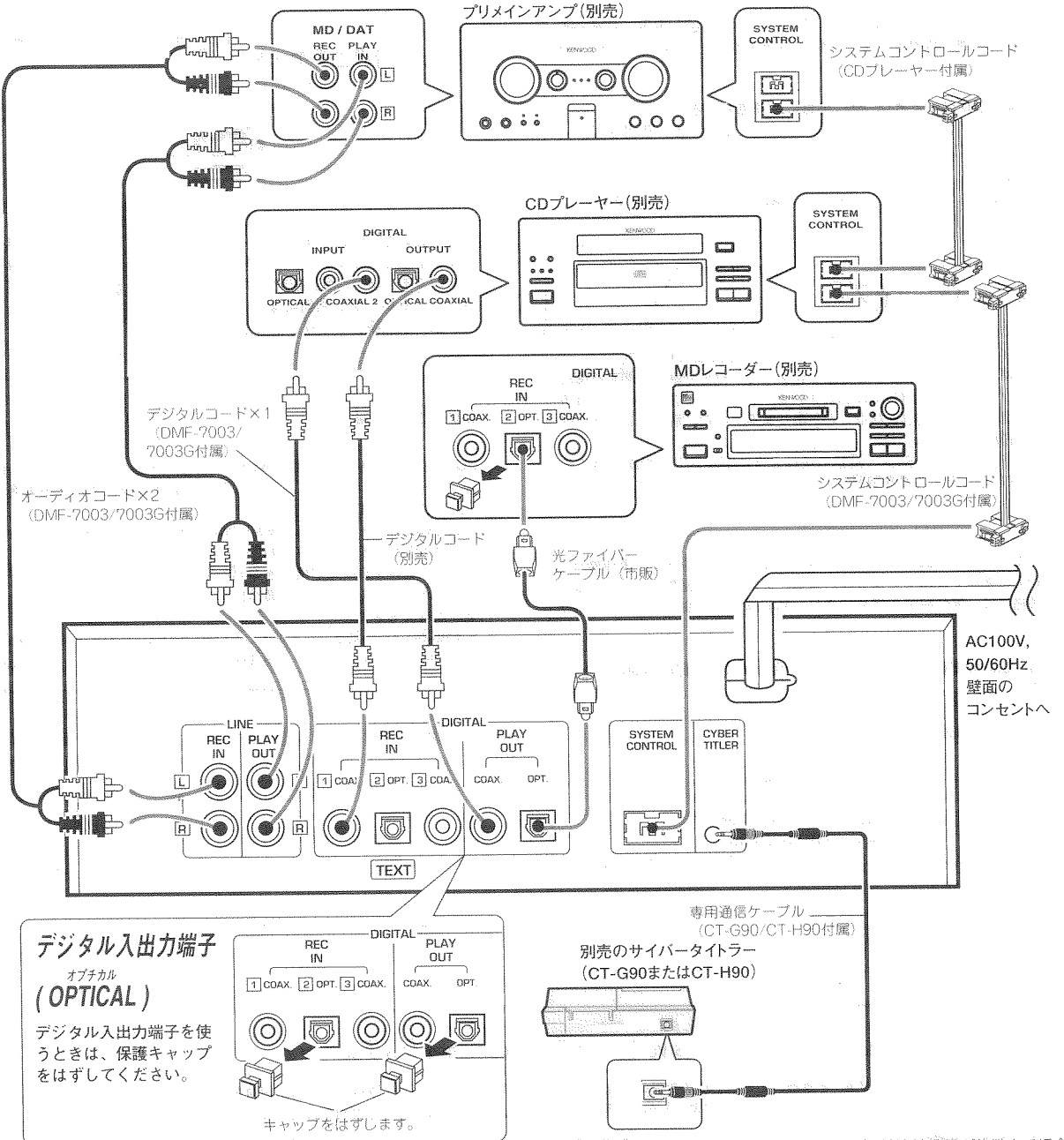
接続が完了してから、電源コードのプラグをコンセントに差し込んでください。

マイコンの誤動作について



正しく接続したのに操作ができなかったり、ディスプレイが誤った表示をする場合は、「故障かな?と思ったら...」を参照してマイコンをリセットしてください。

- [52]



- 保護キャップの紛失にご注意下さい。
- オーディオコード(両ピンコード)は、白のプラグを左(L)端子に、赤のプラグを右(R)端子に接続してください。

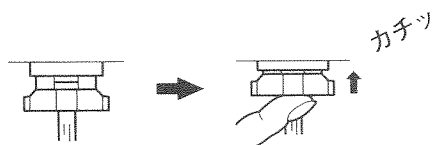
- それぞれの機器のシステムコントロールコード接続端子が複数ある場合は、どちらに接続してもさしつかえありません。
- サイバー・タイターを接続される場合は、「サイバー・タイターを使ってタイトル編集」をご覧ください。



1. すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、音が出なくなったり、雑音が発生することがあります。
2. 接続コードを抜き差しする場合は、必ず電源コードのプラグを電源コンセントから抜いてください。電源コードのプラグを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと、誤動作または破損の原因となります。

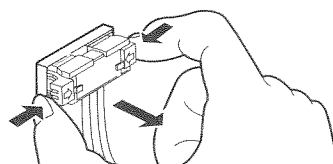
システムコントロールコードの接続

コネクターを差し込む



カチッと音がするまで平行に差し込みロックする

コネクターを抜く



コネクター部分の両端を押しながらかまっすぐ引き抜く

システムコントロール動作について

アンプKAF-7002/KAF-5002(別売)と本機を、システムコントロールコードで接続すると、便利なシステムコントロール動作ができます。

システムコントロール動作について

リモートコントロール

アンプに付属するシステムリモコンで、本機を操作することができます。詳しくは、アンプKAF-7002/KAF-5002(別売)の取扱説明書をお読みください。

イーオペレーション

本機の再生を始めると、アンプの入力が自動的に切り替わります。詳しくは、アンプKAF-7002/KAF-5002(別売)の取扱説明書をお読みください。

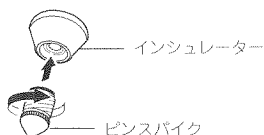
シンクロ録音

CDを録音するとき、アンプの入力をCDにして、CDプレーヤーDPF-7002/DPF-5002(別売)の再生を始めると、連動して録音を開始することができます。詳しくは、CDプレーヤーDPF-7002/DPF-5002(別売)の取扱説明書をお読みください。

- CD以外のデジタルを録音中に、CDを操作しないでください。誤動作する場合があります。
- SOUND SYNCHRO REC.、AUTO CUT.、REC AUTO PAUSEの動作中は、シンクロ録音はできません。 → [25] → [30]

ピンスパイクについて

付属のピンスパイクはお好みにより、底面のインシュレーターに図のようにねじ込んでご使用ください。震動の影響を少なくすることによって、音質が変化します。また、ねじ込む量によって、本機の高さを調節することもできます。



⚠ 注意

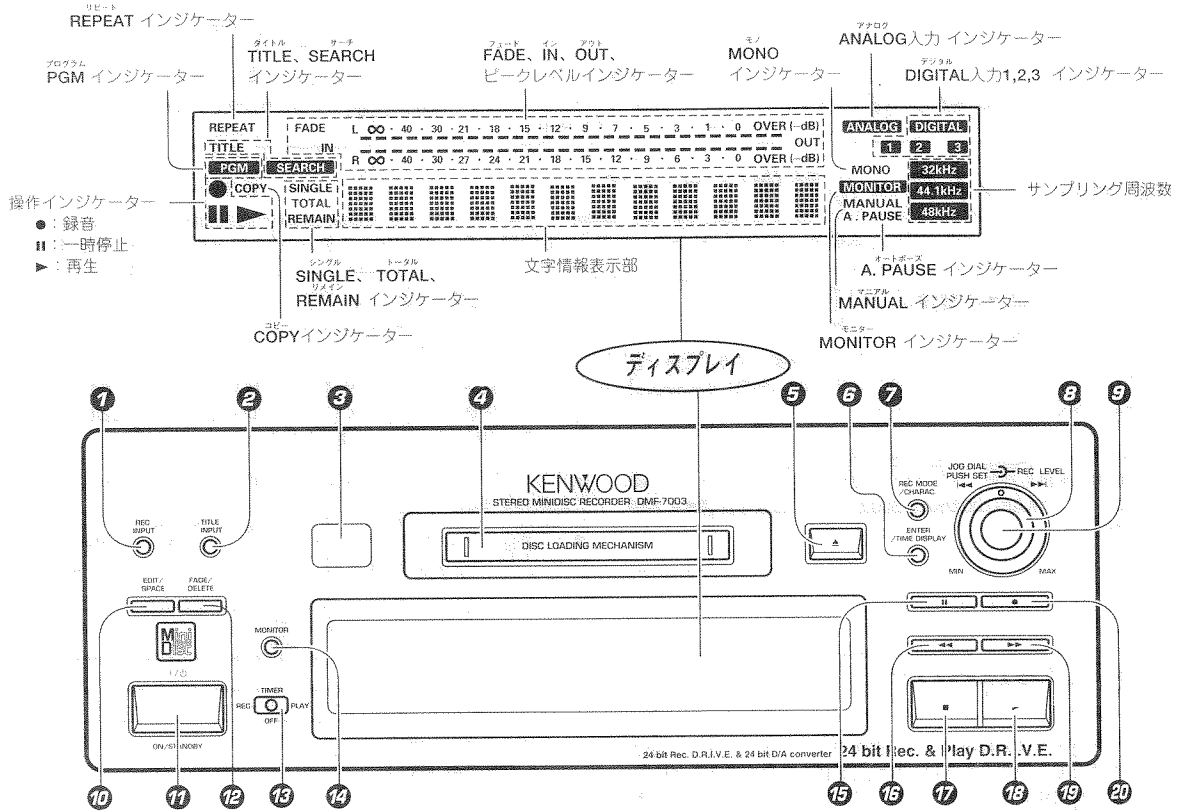
1. ピンの先は尖っていますので、他のものを傷つける場合があります。使用時ピンが当たる部分には必ず付属の滑り止めシートを敷いてください。
2. ピンを付けたまま、機器を移動しないでください。落とした場合、危険です。
3. 輸送時、本機を包装するときは、必ずピンを外してください。包装材にピンが当たり、包装材を傷つけたり破損する場合があります。
4. お子様飲み込む恐れがありますので、使用時以外はお子様の手の届かないところに保管してください

光ファイバーケーブルの接続について

光ファイバーケーブルを使ってCDプレーヤー(別売)やMDレコーダー(別売)との接続ができます。デジタル伝送により、CD、MDの高音質を損なうことなく録音できます。

- 光ファイバーケーブルは真っ直ぐに、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 端子を使わないときは、必ず保護キャップを付けておいてください。
- 光ファイバーケーブルは、絶対に折り曲げたり、束ねたりしないでください。
- 市販の光ファイバーケーブルがすべて使えるとは限りません。接続できないときは、購入店またはもよりの営業所にご相談ください。

表示部/本体部



本イラストは、DMF-7003のの例です。

スタンバイ状態について

本機のスタンバイインジケータが点灯中は、メモリー保護のため、微弱な通電を行っています。これをスタンバイ状態といいます。

本体部のキー説明

- ① REC INPUT** レック インプット キー - [26] - [28]
: 録音入力のデジタル(オプチカル/コアキシャル)、アナログ、モノラルのいずれかに切り換えます。
- ② TITLE INPUT** タイトル インプット キー - [44]
: タイトル入力モードのオン/オフをします。
- ③ リモコン受光部**
- ④ ミニディスク挿入口**
: スタンバイ状態のとき、ミニディスクを挿入すると自動的に電源がオンします。
- ⑤ イジェクト(▲)キー**
: ミニディスクを取り出すときに押します。
- ⑥ ENTER/TIME DISPLAY** エンター タイム ディスプレイ キー - [33] - [50]
ENTER
: 編集処理の実行や、タイトル入力の実行に使用します。
TIME DISPLAY
: 時間およびタイトル表示を切り換えます。
- ⑦ REC MODE/CHARAC.** レック モード キャラクター キー - [23] - [45]
REC MODE
: 各種録音設定値調整モード(録音モード)のオン/オフをします。
CHARAC.
: タイトル入力するとき、文字グループの選択をします。
- ⑧ REC LEVEL** レック レベル つまみ - [27]
: アナログ録音のレベルを調節します。
- ⑨ JOG DIAL** ジョグ ダイアル - [17] - [19] - [32]
スキップダウン(◀◀) / スキップアップ(▶▶) つまみ
: 再生のとき、スキップ(曲の飛び越し)として使います。
: 録音のとき、録音設定値調節モードを行います。
: タイトルサーチのとき、トラック番号の選択に使います。
: タイトル入力モードのとき、トラック番号、文字の選択をします。
: 編集モードのとき、編集モードやトラック番号の選択をします。
PUSH SET つまみ - [32]
: 編集処理の確定や、タイトル入力の確定に使います。
: 録音一時停止中にこのキーを押すと、約6秒さかのぼって **MEMEORY REC** を開始します。
- ⑩ EDIT/SPACE** エディット スペース キー - [32] - [47]
EDIT
: 編集モードのオン/オフをします。
SPACE
: タイトル入力するとき、1文字ぶんの空白を挿入します。
- ⑪ ON/STANDBY** オン スタンドバイ キー
: 電源のオン/オフ(スタンバイ)をします。
- ⑫ FADE/DELETE** フェード デリット キー - [28] - [50]
FADE
: フェードモードのオン/オフをします。
DELETE
: タイトル編集のとき文字の削除や、トラック編集のときトラック番号の取り消しに使用します。
- ⑬ TIMER** タイマー スイッチ
: タイマー再生、タイマー録音のときに使います。通常は、タイマーオフしておきます。
- ⑭ MONITOR** モニター キー - [23]
: 停止中に、入力されたソースを聴くときに使います。
- ⑮ 一時停止(⏸)キー**
: 再生、録音の一時停止をします。
- ⑯ マニュアルサーチダウン(◀◀)キー** - [19] - [46]
: 再生時は、早戻しに使います。
: 各編集モードのときは、タイトル入力のカーソル移動やトラック表示内容の送りをします。
- ⑰ 停止(■)キー**
: 再生や録音動作を停止させます。
- ⑱ 再生(▶)キー**
: 再生キーとして使います。
- ⑲ マニュアルサーチアップ(▶▶)キー** - [19] - [46]
: 再生時は、早送りに使います。
: 各編集モードのときは、タイトル入力のカーソル移動やトラック表示内容の送りをします。
- ⑳ 録音(●)キー** - [25] - [27] - [29]
: 録音をするときに使います。
停止中
: 録音可能なディスクが入っているとき、●キーを押すと、録音一時停止状態になります。
(現在録音されている最終トラックの後ろへの録音一時停止状態になります。)
録音一時停止中
: ●キーを押すと、**SOUND SYNCHRO REC** 待ち状態になります。
: **SOUND SYNCHRO REC** 待機中は、通常の録音一時停止状態になります。

リモコン部

本リモコンは、基本操作およびいろいろな応用操作キーが収納されており、さまざまな用途にご利用できます。本体と同じ名称のキーは本体と同様の働きをします。

① ON/STANDBYキー

電源のオン/スタンバイ(I/O)を切り換えます。

② 文字群編集キー

タイム ディスプレイ

TIME DISPLAY キー

：時間およびタイトル表示を切り換えます。

キャラクタ プレイモード

CHARA./P.MODEキー

：タイトル入力するとき、文字グループの選択に使用します。

プレイモード

P.MODE

：プログラム再生するときに使用します。

デリート クリア

DELETE/CLEARキー

：タイトル入力するとき、文字を削除します。

クリア

CLEAR

：編集の時、入れ換えた曲の取り消しに使用します。

：プログラムを削除します。

スペース チェック

SPACE/CHECKキー

：タイトル入力するとき、1文字ぶんの空白を挿入します。

チェック

CHECK

：プログラム内容を確認します。

③ MONITORキー

：停止中に、入力されたソースを聴くときに使用します。

メーター

METERキー

：レベルメーター表示の内容を切り換えます。

ランダム

RANDOMキー

：ランダム再生をするときに使用します。

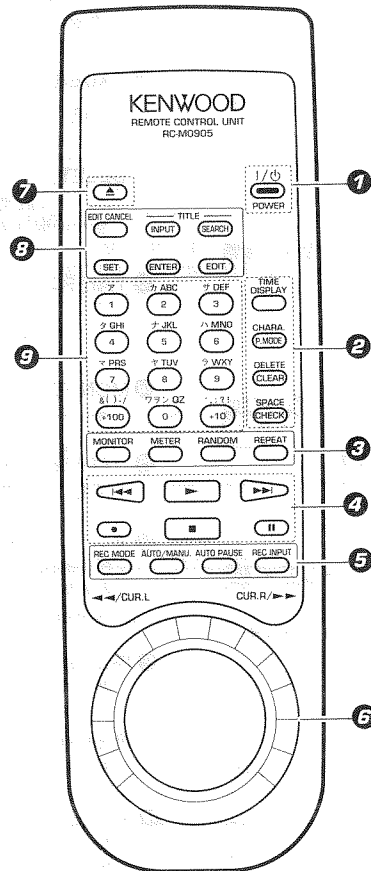
リピート

REPEATキー

：繰り返し再生のリピートモードの切り換えに使用します。

④ 基本操作キー

- ▶ :再生キー
- ◀, ▶ :スキップダウン/アップキー
- :録音キー
- :停止キー
- ⏸ :一時停止キー



型名:RC-M0905
赤外線方式

⑤ CURSOR / ◀, ▶ シャトル

カーソル

CURSOR

：タイトル入力時は、カーソルの移動に使用します。

◀, ▶

：再生のとき、早送り、早戻しキーとして使用します。

⑥ イジェクト (▲) キー

⑧ 編集モードキー

エディット キャンセル

EDIT CANCEL キー

：編集作業の取り消しに使用します。

タイトル インプット

TITLE INPUT キー

：タイトル入力モードのオン/オフをします。

タイトル サーチ

TITLE SEARCH キー

：タイトルサーチモードのオン/オフをします。

：タイトル編集集中、タイトル変更入力時の「上書きモード」、「挿入モード」の切り換えをします。

セット

SET キー

：編集処理の確定や、タイトル入力の確定に使用します。

：録音一時停止中にこのキーを押すと、約6秒さかのぼってMEMEORY RECを開始します。

エンター

ENTER キー

：編集処理の実行や、タイトル入力の実行に使用します。

エディット

EDIT キー

：編集モードのオン/オフをします。

⑨ 数字キー

0-9

：トラック番号をダイレクトに選択するときに使用します。

+10

：10以上のトラック番号を入力するときに使用します。

+100

：100以上のトラック番号を入力するときに使用します。

：タイトル編集のとき、文字や記号の選択にも使用します。

⑤ 録音関連キー

レック モード

REC MODE キー

：各種録音設定値調整モード（録音モード）のオン/オフをします。

オート マニュアル

AUTO/MANU. キー

：録音のとき、トラック番号を自動で付ける

(AUTO)か、後で手動で付ける(MANUAL)かを選びます。

オート ボース

AUTO PAUSE キー

：再生中に、トラック番号が変わったところで一時停止ができます。

：録音中、録音一時停止中に押すとAUTO REC PAUSEがオンになります。

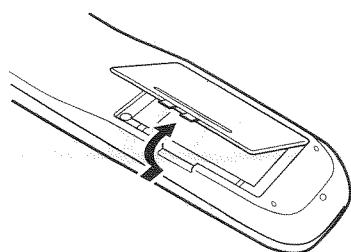
レック インプット

REC INPUT キー

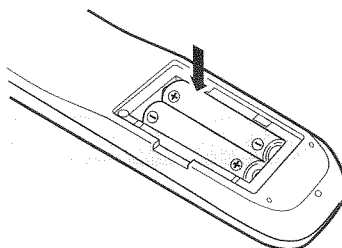
：録音入力のデジタル(オプティカル/コアキシャル)、アナログ、モノラルのいずれかに切り換えます。

電池の入れかた

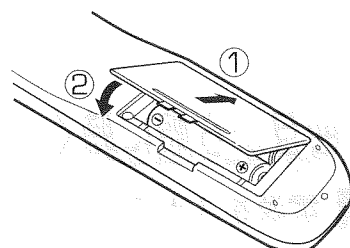
1 ふたを開ける



2 電池を入れる



3 カバーを閉める

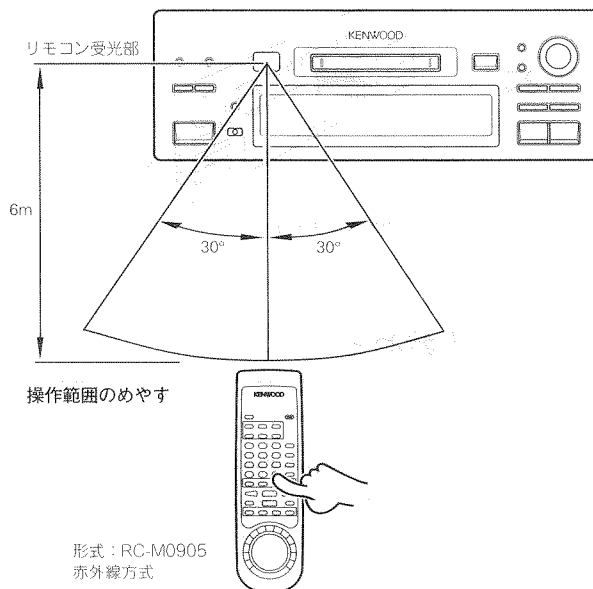


- 単4乾電池(R03/UM-4E)2個を極性マークに従って入れる。

操作のしかた

電源プラグをコンセントに差し込み、リモコンの^{オン} "ON/STANDBY"^{スタンバイ}キーを押すと、電源がオンになります。電源がオンになったら、操作したいキーを押します。

- リモコンの各操作キーを押してから次のキーを押すときは、約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。



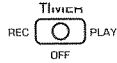
1. 付属の乾電池は動作チェック用のため、寿命が短いことがあります。ご了承ください。
2. 操作できる距離が短くなったら、全部新しい電池と交換してください。
3. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯(インバーター方式等)の蛍光灯の光が当たると、正しく動作しないことがあります。このような場合、誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

16

ミニディスクを、1曲目から、そのままの曲順で聴くときの使いかたです。

MDを再生する前に

タイマー
TIMERスイッチをオフにする。



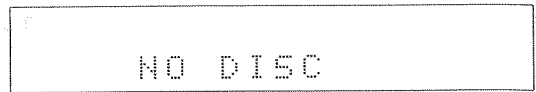
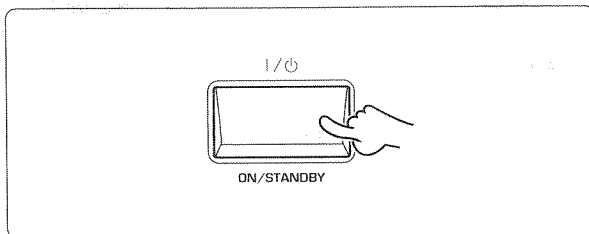
モノラル録音されたミニディスクについて

本機は、"モノラル長時間モード"で録音されたミニディスクも再生できます。"モノラル長時間モード"の場合、同じ録音時間内容がステレオモード時の半分のデータ量となるため、再生時間(録音時間)はステレオモード時の2倍(最大148分)になります。

- "モノラル長時間モード"で録音したミニディスクは、モノラル再生対応をしていない機器では、正常に再生できません。

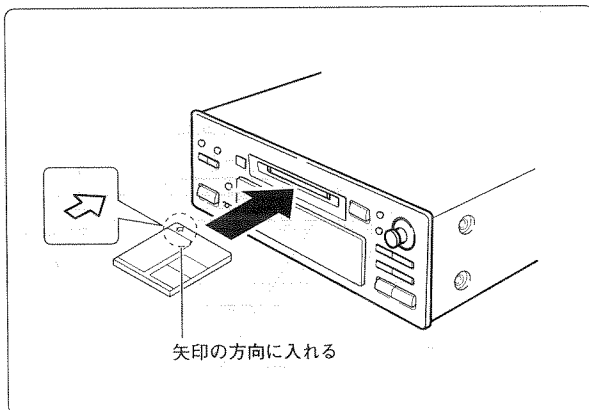
1 曲目から順に聴く

1 電源を入れる

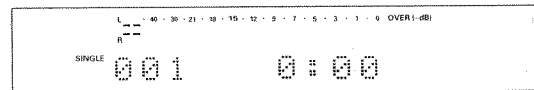


ミニディスクが入っていないとき

2 ミニディスクを入れる

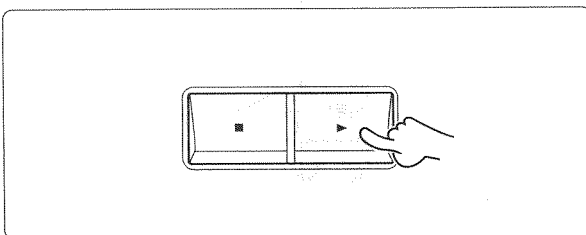


- ミニディスクを本機の挿入口へ、確実に差し込んでください。
- "READING"が点滅して、ミニディスクの内容を調べます。
- ミニディスクにタイトルが記録されているときは、タイトルを表示します。

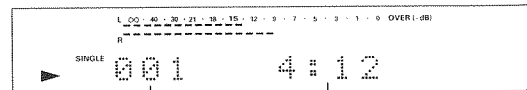


- "PGM"表示が点灯しているときは、リモコンのCHARA./P.MODEキーを押し、キャラクター プレイモードを押して消灯させてください。

3 再生を始める



- 数秒後に、1曲目から再生します。



再生中のトラック番号

再生中の曲の経過時間

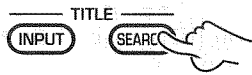
準備しましょう

- ① MDを停止する。
- ② トラックモードを確認する(PGM表示を消灯させる)

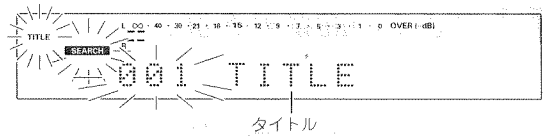


聴きたい曲をタイトルで探す (TITLE SEARCH)

1 TITLE SEARCHキーを押す



もう一度TITLE SEARCHキーを押すと、タイトルサーチモードが解除します。



- タイトルの入力されていない曲は、トラック番号と"....."が表示されます。
- 停止中でも、再生中でも可能です。

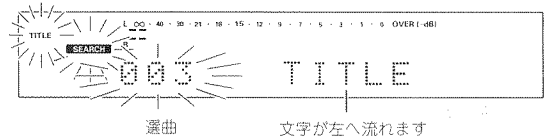
2 聴きたい曲名 (タイトル) を選ぶ

トラック番号が戻る

トラック番号が進む



もう一度TITLE SEARCHキーを押すと、タイトルサーチモードが解除します。



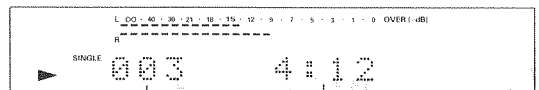
選曲

文字が左へ流れます

3 再生を始める



文字が左へ流れます



再生中のトラック番号

再生中の曲の経過時間

- 数秒後に、再生します。

18 聴きたい曲を選ぶ

1 トラックモードにする

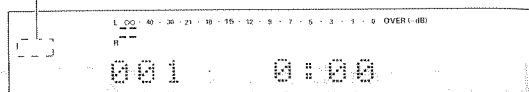
停止中に押す



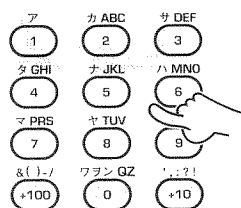
押すたびに切り換わります。

- ① トラックモード : PGM消灯
- ② プログラムモード : PGM点灯

"PGM"消灯



2 聴きたい曲番号を選ぶ



数字キーを押す順序は...

23曲目 : [+10] [+10] [3] の順に押す

40曲目 : [+10] [+10] [+10] [+10] [0] の順に押す

212曲目 : [+100] [+100] [+10] [2] の順に押す

曲の途中をダイレクトに再生するには...

7曲目の前半を再生(7.2) : [7] [0] [2] の順に押す

7曲目の真ん中を再生(7.5) : [7] [0] [5] の順に押す

7曲目の後半を再生(7.8) : [7] [0] [8] の順に押す

再生中の真ん中を再生(.5) : [0] [5] の順に押す

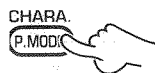
- "READING" が点滅中にミニディスクにない曲を選ぶと、ミニディスクの最後の曲を再生します。

ランダム

RANDOM再生するには

1 トラックモードにする

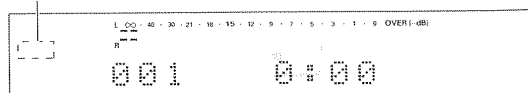
停止中に押す



押すたびに切り換わります。

- ① トラックモード : PGM消灯
- ② プログラムモード : PGM点灯

"PGM"消灯



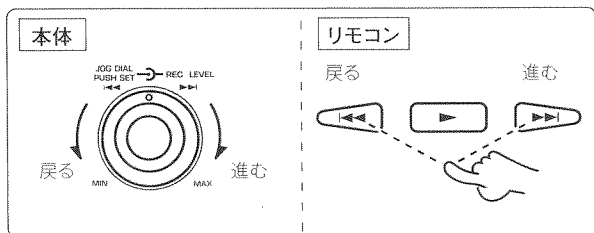
ランダム

2 RANDOMキーを押す



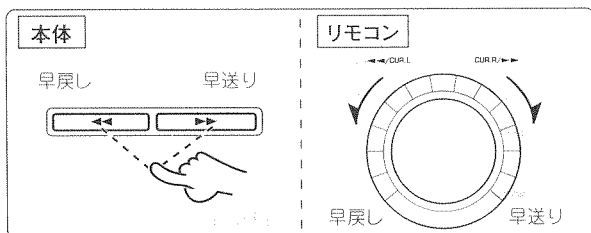
- プログラムモードでのランダム再生はできません。
- ランダム再生中にRANDOMキーを押すと、ランダム再生を解除し、その場所から再生します。(曲の終り近くでは次の曲に移る場合があります。)
- 通常の再生中にRANDOMキーを押すと、現在再生中の曲を停止してランダム再生を開始します。

曲を飛び越すには (スキップ)



- 押した方向に飛び越して、選んだ曲の最初から再生します。
- 再生中に◀◀キーを1回押すと、その曲の最初に戻ります。
- 前曲の最初に戻るときは、再生中約2秒以内に◀◀キーを操作します。

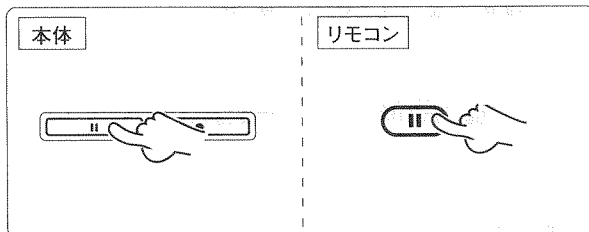
早送り・早戻しするには (サーチ)



- キーから手を離れたところから、再生します。(一時停止中にサーチした場合は、サーチ先で一時停止になります)
- 再生中の早送り、早戻しは、音が出ます。
- 再生一時停止中の早送り、早戻しは高速となり、音が出ません。
- プログラムモード時、早戻しをして曲のはじめまでくると、その曲を再生します。

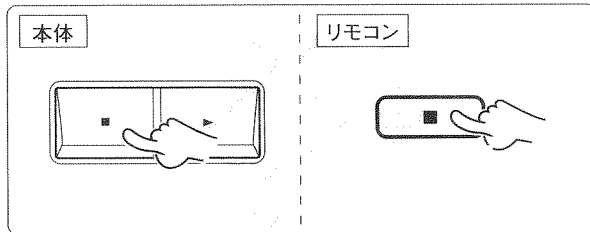
- [20]

一時停止するには

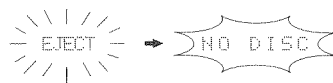
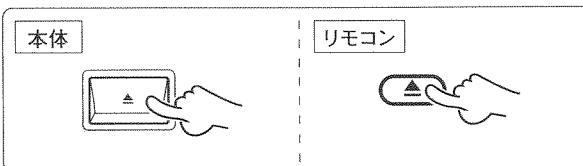


- 押すたびに、一時停止と再生が切り換わります。

再生を止めるには



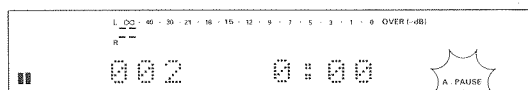
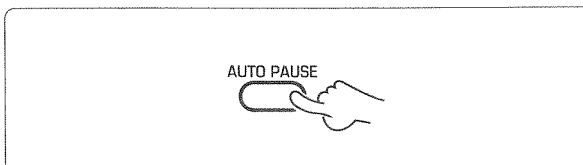
ミニディスクを取り出すとき



ミニディスク排出

オートポーズ (リモコンのみ)

このキーを押すと、1曲再生終了ごとに一時停止します。
この機能は、語学のレッスンや各曲の後に間が欲しいときに便利です。



"A. PAUSE"点灯

- 再生するときは、▶キーを押します。
- 本機能を使用しないときは、必ずAUTO PAUSEキーを押して"A. PAUSE"の表示を消灯してください。

好きな曲を好きな順番にプログラムして聴くことができます。(最大32曲)

準備しましょう

- ① ミニディスクを入れる。
- ② MDを停止する。



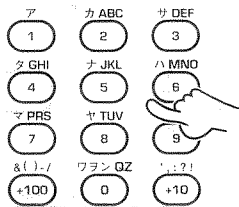
曲順を自由にプログラムする

1 プログラムモードにする



2 聴きたい順に曲番号を選ぶ

① 聴きたい曲番号を、順に選ぶ



② 確定する



手順①と②を繰り返して、希望の曲順に並べます。

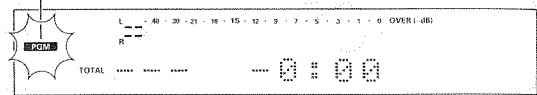
3 再生する



押すたびに切り換わります。

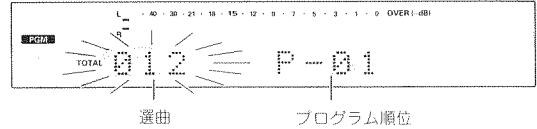
- ① トラックモード : PGM消灯
- ② プログラムモード : PGM点灯

"PGM"点灯



数字キーを押す順序は...

トラック番号12を選ぶとき: **+10** **2** の順に押す。



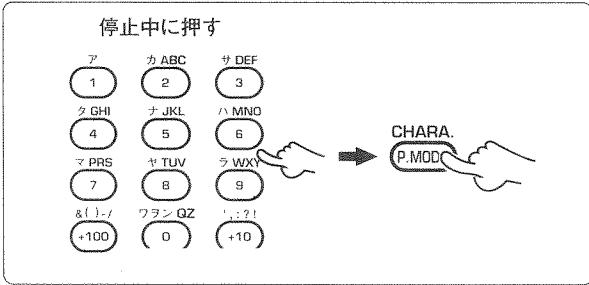
- 32曲まで選べます。^{フル}"FULL"と表示したときは、それ以上プログラムを受け付けません。
- 間違えたときは^{デリート}DELETE/^{クリア}CLEARキーを押してから、選び直してください。
- 極端に短い曲は、プログラムできません。
- プログラム時間の合計が256分以上になると、表示が"-***:***"になります。

- 表示点滅中に^{キャラクター}CHARA./^{プレイモード}P.MODEキーを押さないで入力中止されます。



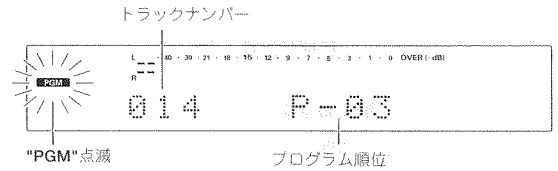
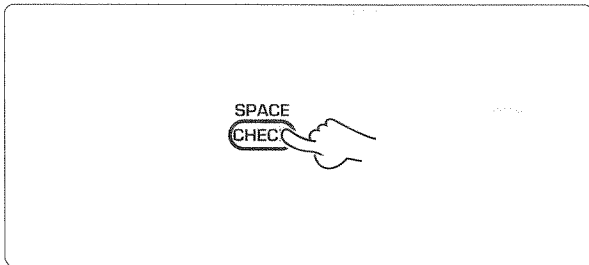
- 選んだ順(P-番号順)に再生します。
- 再生中に、**⏮** または **⏭** キーを押すと、押した方向へ飛び越します。

曲を追加するには



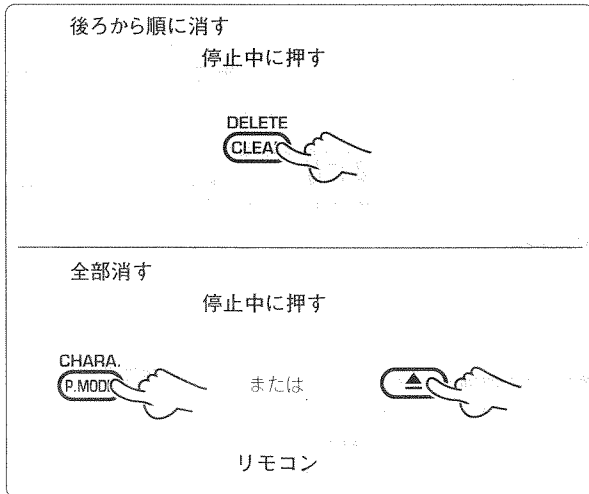
- 追加したい曲番号を選ぶと、プログラムの最後に追加されます。
- 表示点滅中にCHARA./P.MODEキーを押さないと入力中止されます。

曲順を確かめるには



- 押すたびに、プログラムされた曲を順に表示していきます。

プログラムした曲を取り消すには



取り消した曲のプログラム番号を表示



- プログラムの内容が、全部消えます。

プログラムした曲を繰り返し聴くことができます。

準備しましょう

MDを停止する。



繰り返し聴く (REPEAT)

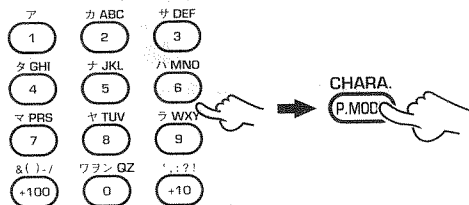
選んだ曲だけを繰り返すには

① 繰り返す曲を選ぶ

① プログラムモードにする



② 順に曲を選ぶ



② 手順②を繰り返す

③ リピートモードにする



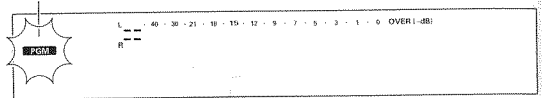
④ 再生する



押すたびに切り換わります。

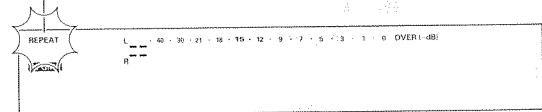
- ① トラックモード : PGM消灯
- ② プログラムモード : PGM点灯

"PGM"点灯



- 選んだ曲全部を繰り返します。
- 1曲だけ選んだ場合は、その曲だけを繰り返します。

"REPEAT"点灯



繰り返し再生をやめるには

もう一度、REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、MDレコーダーのモード(PGM)に従った再生に戻ります。

ディスク全体を繰り返すには

① トラックモードにする



② リピートモードにする



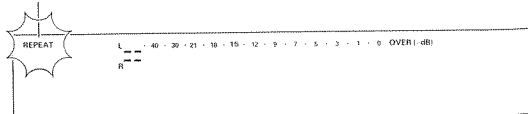
③ 再生する



押すたびに切り換わります。

- ① トラックモード : PGM消灯
- ② プログラムモード : PGM点灯

"REPEAT"点灯



繰り返し再生をやめるには

もう一度、REPEATキーを押します。

- "REPEAT"表示が消灯し、MDレコーダーのモード(トラック)に従った再生に戻ります。

便利な録音関連キーの使い方

オート マニュアル

DMF-7003/DMF-7003G (J)

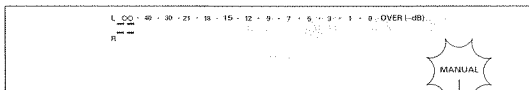
AUTO/MANU.キーについて

録音時、トラック番号を自動的に付けて(AUTO TNO)録音するか、録音中または録音後手でトラック番号を付けるかを切り換えます。トラック番号は再生時、曲の頭出しやプログラムのときなどに使用します。

録音を始める前に選ぶ



(リモコン)



"AUTO" 時消灯、"MANUAL" 時点灯

モニター

MONITORキーについて

停止中に、入力されたソースを聴くときに使います。

レック インプット デジタル
REC INPUTがDIGITALの場合、その信号のサンプリング周波数(48kHz、44.1kHz、32kHz)の表示をします。

停止中に押す



"MONITOR" サンプリング周波数"点灯

レック モード

REC MODEキーについて

録音関係の設定調整モード表示を選択し、各種設定値の調整ができます。

微調整の設定のしかた

- ① "REC MODE"をオンにする
REC MODE / CHARAC.
- ② 設定調整モードを選ぶ
確定する (ジョグダイヤルを押す)
- ③ 設定する
確定する (ジョグダイヤルを押す)

続けて他の設定を変更したい場合は、PUSH SETつまみを押します。(手順②へ進みます。)

押すたびに切り換わります。

- ① REC MODE: オフ
- ② REC MODE: オン

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- | | |
|----------------|---|
| D. REC LEVEL? | : デジタル録音レベル設定 |
| AUTO CUT? | : AUTO CUTのオン/オフ切り換え |
| AUTO TIME? | : AUTO TNOの無音検出時間の設定 |
| AUTO LEVEL? | : AUTO TNOの無音検出レベルとSOUND SYNCHRO REC、AUTO CUT、REC AUTO PAUSEの音声検出レベルの設定 |
| FADE TIME? | : FADEモード時のFADE時間の設定 |
| REC → WRITING? | : 録音終了時のUTOC書き込みモードの切り換え |

- 手順②で選んだ"設定調整モード"の設定内容を手順③で変更します。
- "D. REC LEVEL"と "FADE TIME"は、アナログ録音のときは働かせません。
- 終了したいときは、REC MODEキーを押します。

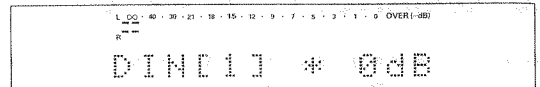
デジタルレック レベル

"D. REC LEVEL ?"表示を選択の場合

(デジタル録音時に有効です。)

"D. REC LEVEL ?"表示のとき、SETキーを操作するとデジタル録音レベルの初期表示になります。このとき、スキップアップ/ダウンつまみで現在の選択されているデジタル入力のリコーレベルを設定します。初期設定は"DIN [1] *0dB"となり、-∞から+12dBまでのレベルが設定できます。[]内の数字は現在のデジタル入力の番号です。

初期表示



調整値表示

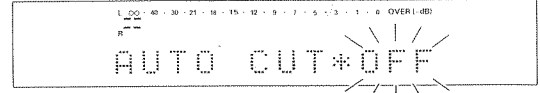


オート カット

"AUTO CUT ?"表示を選択の場合

"AUTO CUT"は、録音中に音声が入力が一定以下になると自動的に"**SOUND SYNCHRO REC**"の一時停止状態になります。"AUTO CUT ?"表示のとき、SETキーを操作するとAUTO CUTモード設定の初期表示になります。このとき、スキップアップ/ダウンつまみでAUTO CUTのオン/オフを設定し、SETキーで確定します。初期設定は"AUTO CUT *OFF"となります。

初期表示



選択表示



録音中



オート タイム

"AUTO TIME ?"表示を選択の場合

(CDのデジタル録音時に有効です。)

"AUTO TIME ?"表示のとき、SETキーを操作するとオートトラックナンバーの無音検出時間設定の初期表示になります。このとき、スキップアップ/ダウンつまみで無音検出時間を設定し、SETキーで確定します。初期設定は"TIME *2.0SEC"となり、0.5秒ステップで0.5から4.0秒までの時間が設定できます。

初期表示



調整値表示

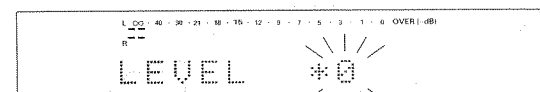


オート レベル

"AUTO LEVEL ?"表示を選択の場合

"AUTO LEVEL ?"表示のとき、SETキーを操作するとオートトラックナンバーの無音検出レベルと、"**SOUND SYNCHRO REC**"、"**AUTO CUT**"、"**REC AUTO PAUSE**"の検出レベルを、一括設定する初期表示になります。このとき、スキップアップ/ダウンつまみで無音検出レベルを設定し、SETキーで確定します。設定されたレベルが、共通の検出レベルになります。初期設定は"LEVEL *0"となり、+3から-3までのレベルが設定できます。

初期表示



調整値表示



設定値: -3 -2 -1 *0 +1 +2 +3

AUTO TNO	TNOが：繰り返りにくくなる ←→	繰り返り易くなる
AUTO CUT	録音が：一時停止しにくくなる ←→	一時停止し易くなる
REC AUTO PAUSE	録音が：一時停止しにくくなる ←→	一時停止し易くなる
SOUND SYNCHRO REC	録音が：スタートし易くなる ←→	スタートしにくくなる

●アナログ録音時、テープなどのノイズで、SOUND SYNCHRO RECが働き、録音を開始する事があります。この時は設定レベルを上げてください。

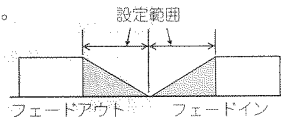
AUTO TNO (Automatic track number): 自動的にトラックナンバーを繰り返り上げる

フェード タイム

"FADE TIME ?"表示を選択の場合

(デジタル録音時に有効です。)

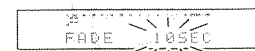
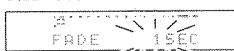
"FADE TIME ?"表示のとき、SETキーを操作すると"フェードタイム"の設定の初期表示になります。このとき、スキップアップ/ダウンつまみでフェードイン/アウトにかかる時間を設定し、SETキーで確定します。初期設定は"FADE * 3SEC"となり、1秒ステップで1から10秒までの時間が設定できます。



初期表示



調整値表示

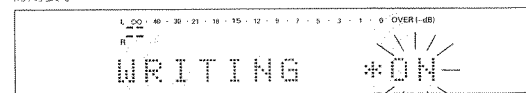


レック ライティング

"REC→WRITING ?"表示を選択の場合

"WRITING"とは、ミニディスクに情報を書き込んでいる状態をいいます。"REC→WRITING ?"表示のとき、SETキーを操作すると"書き込みモード"の設定の初期表示になります。初期設定は"WRITING *ON"となります。このとき、スキップアップ/ダウンつまみで録音終了時のUTOC書き込みのオン/オフを設定し、SETキーで確定します。

初期表示



選択表示



音声にあわせて自動的に録音を開始、一時停止したり、6秒前の音声にさかのぼって録音することができます。

準備しましょう

録音一時停止にする。 → [27] → [29]

サウンド シンクロ レック

曲の開始に合わせて自動的に録音 (SOUND SYNCHRO REC)

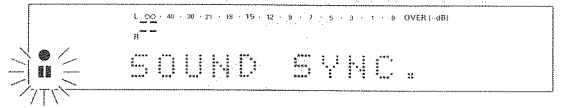
一定以上の音声の入力があると、自動的に録音を開始します。

この機能は^{オート}AUTO CUTと^{カット}組合わせて、選択した何曲かを録音する時に便利です。

録音一時停止中に押す。



曲が始まると録音を開始します。



- 音の検出レベルはREC MODEの^{レベル}"AUTO LEVEL"で調整できます。→ [24]
- 再度、●キーを押すと通常の録音一時停止状態になります。
- 音楽ソースによっては、頭切れをおこす場合があります。

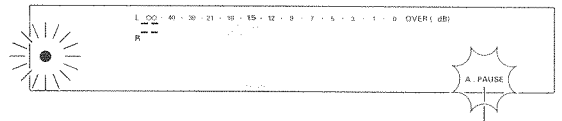
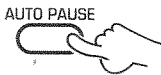
レック オート ポーズ

曲の終了に合わせて自動的に録音を一時停止 (REC AUTO PAUSE)

音声の入力が3秒以上の間一定以下になる、又はCDのデジタルREC時は再生中の曲のトラックナンバーが変わると自動的に録音を一時停止します。

この機能は、CDを1曲だけ録音したいときに便利です。

録音中、または録音一時停止中に押す。



"A. PAUSE"点灯

- 音の検出レベルはREC MODEの"AUTO LEVEL"で調整できます。→ [24]
- 解除するには、■キーがAUTO PAUSEキーを再度押してください。

メモリー レック

さかのぼって録音 (MEMORY REC)

キーを押した6秒前の音声から録音をします。

ラジオ放送を録音する時などに便利です。

録音一時停止中に押す。



6秒前の音声から録音を開始します。

- 録音一時停止の状態から6秒以上経たないと、6秒前からの録音はできません。
- フェードモードがオンの場合、フェードモードを解除して録音を開始します。

録音のしかた (ANALOG)

オーディオコードで接続されている入力端子には、アナログ信号が入ってきます。本機では、アナログ端子に入った信号を、デジタル信号に置き換えて録音しています。(以後、アナログ録音と呼びます。)

準備しましょう

- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。 - 8
- ② ミニディスクを入れる。
- ③ 録音可能時間を確かめる。 - 50
- ④ アンプの入力切り換えを録音したいソースにする。

アナログ

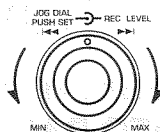
ANALOG録音のしかた

1 微調整の設定をしたいとき

- ① "REC MODE"をオンにする



- ② 設定調整モードを選ぶ



- ③ 確定する(ジョグダイヤルを押す)



設定調整不要の場合は、手順②へ進みます。

押すたびに切り換わります。

- ① REC MODE: オフ
- ② REC MODE: オン

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- D.REC LEVEL? : デジタル録音レベル設定
- AUTO CUT? : AUTO CUTのオン/オフ切り換え
- AUTO TIME? : AUTO TNOの無音検出時間の設定
- AUTO LEVEL? : AUTO TNOの無音検出レベルとSOUND SYNCHRO-REC, AUTO CUT, REC AUTO PAUSEの音声検出レベルの設定
- FADE TIME? : FADEモード時のFADE時間の設定
- REC → WRITING? : 録音終了時のUTOC書き込みモードの切り換え

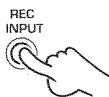
● 設定調整モードの詳細は、"REC MODEキーについて"を参照してください。 - 23

● "D. REC LEVEL"と "FADE TIME"は、アナログ録音のときは働きません。

アナログ

モノ

2 "ANALOG"または"MONO"を選ぶ



押すたびに切り換わります。

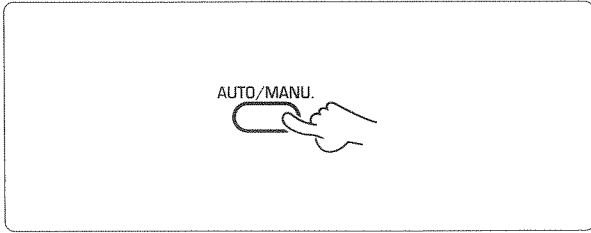
- ① ANALOG : アナログ"ステレオモード"
- ② DIGITAL 1 : COAXIALモード
- ③ DIGITAL 2 : OPTICALモード
- ④ DIGITAL 3 : COAXIALモード
- ⑤ MONO : アナログ"モノラル長時間モード"

"ANALOG"点灯



- 録音の一時停止中は、MONOには切り換わりません。
- MONOの一時停止中は、REC INPUT切り換えはできません。
- アナログ"モノラル長時間モード"で録音すると、ステレオで録音したときの約2倍の時間を録音することができます。

3 オート または マニュアル "AUTO" または "MANUAL" にする (リモコンのみ)



押すたびに切り換わります。

- ① 消灯 (AUTO) : 自動的に、トラックナンバーをつけるとき → [23]
- ② MANUAL : 任意に、トラックナンバーをつけるとき → [23]



"AUTO"時消灯、"MANUAL"時点灯

4 録音レベルを調節する (本体のみ)

- ① 録音するソースを再生する
- ② ●キーを押す

- ③ 録音レベルを調節する

レベルが低くなる レベルが高くなる

●キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。

●レベルメーターの赤い部分が点灯したときは、レベルを下けてください。

5 録音を始める

- ① ||キーを押す

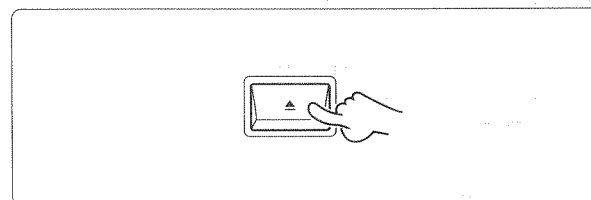
- ② 録音するソースを初めから再生する

ディスプレイに下記の文字が表示されたとき録音はできません。

- "DISC FULL" : ミニディスクが一杯になっている
⇒ 不要な曲を消す。 → [40] → [42]
- "PROTECTED" : 誤消去防止つまみが開いている
⇒ 閉める。 → [8]
- "PLAY ONLY" : 再生専用ミニディスクである
⇒ 録音用ミニディスクを入れる。

●録音中に^{エディット}EDIT/^{スペース}SPACEキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。

6 録音終了後、ミニディスクを取り出す



情報を書き込み中 ミニディスク排出

●録音中は、イジェクト(▲)キーは、受け付けません。

ライティング
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

録音のしかた (DIGITAL)

DMF-7003/DMF-7003G (J)

録音用ミニディスクを使用して録音することができます。本機がCDプレーヤー等のデジタル出力を持った機器と、デジタルコードまたは光ファイバーケーブルで接続されている場合、デジタル入力端子より入力された信号をデジタルの状態で録音します。(以後、デジタル録音と呼びます。)高音質の録音をお楽しみください。

準備しましょう

- ① ミニディスクの誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。 → 8
- ② ミニディスクを入れる。
- ③ 録音可能時間を確かめる。 → 50
- ④ アンプの入力切り換えを録音したいソースにする。

デジタル

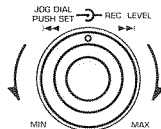
DIGITAL録音のしかた

1 微調整の設定をしたいとき

- ① "REC MODE"をオンにする

REC MODE
/CHARAC.

- ② 設定調整モードを選ぶ



- ③ 確定する(ジョグダイヤルを押し)



設定調整不要の場合は、手順③へ進みます。

押すたびに切り換わります。

- ① REC MODE: オフ
- ② REC MODE: オン

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- | | | | |
|---------|--------|----------------|--|
| デジタルレック | レベル | D.REC LEVEL? | : デジタル録音レベル設定 |
| オート | カット | AUTO CUT? | : AUTO CUTのオン/オフ切り換え |
| オート | タイム | AUTO TIME? | : AUTO TNOの無音検出時間の設定 |
| オート | レベル | AUTO LEVEL? | : AUTO TNOの無音検出レベルとSOUND SYN-CHRO REC、AUTO CUT、REC AUTO PAUSEの音声検出レベルの設定 |
| フェード | タイム | FADE TIME? | : FADEモード時のFADE時間の設定 |
| レック | ワイディング | REC → WRITING? | : 録音終了時のUTOC書き込みモードの切り換え |

●設定調整モードの詳細は、「REC MODEキーについて」を参照してください。

2 "DIGITAL 1.2.3"のいずれかを選ぶ

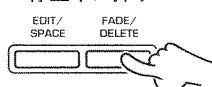
REC
INPUT

押すたびに切り換わります。

- ① ANALOG : アナログ"ステレオモード"
- ② DIGITAL 1 : COAXIALモード
- ③ DIGITAL 2 : OPTICALモード
- ④ DIGITAL 3 : COAXIALモード
- ⑤ MONO : アナログ"モノラル長時間モード"

3 フェードをかけて録音するとき

停止中に押す



押すたびに切り換わります。

- ① FADE 消灯: フェードモードオフ
- ② FADE 点灯: フェードモードオン

●フェードについての詳細は、「FADE TIME?」表示を選択の場合(→24)、および「MDのフェード録音について」(→30)を参照してください。

4 "AUTO"または"MANUAL"にする (リモコンのみ)

AUTO/MANU.



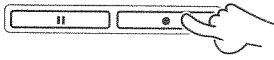
押すたびに切り換わります。

- ① 消灯(AUTO): 自動的に、トラックナンバーをつけるとき → 23
- ② MANUAL : 任意に、トラックナンバーをつけるとき → 23

5 デジタル録音レベルを変更したいとき

① 録音するソースを再生する

② ●キーを押す



③ デジタル録音レベルを変更する

レック モード デジタルレック
REC MODEをオンにして、設定調整モードの"D.REC
レベル ジョグ タイアル
LEVEL?"表示を選び、JOG DIALで調節します。

●●キーを押すと、自動的に録音一時停止になります。

●レベルメーターの赤い部分が点灯したときは、レベルを下げてください。

6 録音を始める



ディスプレイに下記の文字が表示されたとき、デジタル録音はできません。

- "DISC FULL"
ディスク フル : ミニディスクが一杯になっている。
→ 不要な曲を消す。 - [40] - [42]
- "UNLOCK"
アンロック : デジタルコードまたは光ファイバーケーブルが外れているか、接続が不完全である。(接続されていない)
→ デジタルコードまたは光ファイバーケーブルを正しく接続する。 - [10]
- "SCMS ON"
オン : SCMSによってデジタル録音禁止になっている。
→ アナログ録音にする。 - [26]
- "NotAudio"
ノット オーディオ : 入力されているデジタル信号がオーディオ信号でない。
→ アナログ録音にする。 - [26]
- "PROTECTED"
プロテクトド : 誤消去防止つまみが開いている。
→ 閉める。 - [8]
- "PLAY ONLY"
プレイ オンリー : 再生専用ミニディスクである。
→ 録音用ミニディスクを入れる。

- 録音中にEDIT/SPACEキーを押すと、その位置にトラック番号が付けられます。
- 録音中に一時停止をしたとき、再び録音を開始すると、トラック番号は"1"繰り上がります。

7 録音したいソースを再生する

- 曲の初めから余裕をもって録音するには、MDレコーダーの時間表示が動き始めてから、録音したいソースの再生を始めてください。

8 録音終了後、ミニディスクを取り出す



- 録音中は、イジェクト(▲)キーは、受け付けません。



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。



CDの録音時に、CDの再生が始まるとトラック番号が"1"繰り上がる場合があります。これはCDのデジタル信号成分中に含まれる信号のためです。不要なトラック番号は"再生中の曲を消す(TRACK ERASE)"を参照して削除してください。

30 CDとのシンクロ録音のしかた

本機とアンプKAF-7002/KAF-5002(別売)、CDプレーヤーDPF-7002/DPF-5002(別売)をシステムコントロールコードで接続すると、次の手順で録音(MD)と再生(CD)を同時にスタートさせることができます。

- ① アンプの入力切り換えをCDにする
- ② CDを一時停止にする
- ③ CDの録音したい曲を◀◀、▶▶キーで選ぶ
- ④ MDレコーダーを録音一時停止にする
- ⑤ CDの再生を始める

●SOUND SYNCHRO REC. AUTO CUT. REC AUTO PAUSEの動作中はシンクロ録音はできません。

デジタル

DIGITAL録音とSCMSについて

ミニディスクでは、下記の場合においては、デジタル録音することはできません。

サンプリング・レート・コンバーターについて

通常、デジタル信号には次の三つの種類があり、これはサンプリング周波数と呼ばれます。サンプリング周波数はデジタル機器の種類によって、以下のように分かれています。

48 kHz :DATの標準モード、BSチューナーのBモード放送等。

44.1 kHz :DATの標準モード、CD、MD等。

32 kHz :DATの標準モードおよび長時間モード、BSチューナーのAモード放送等。

一般的にデジタル伝送による高音質録音をする場合、ソース機器側と録音機器側のサンプリング周波数が一致していなければ録音できませんが、本機は、サンプリング・レート・コンバーターを内蔵しているので、48 kHz、32 kHzのデジタル信号はMDのサンプリング周波数(44.1kHz)に変換して、録音することができます。

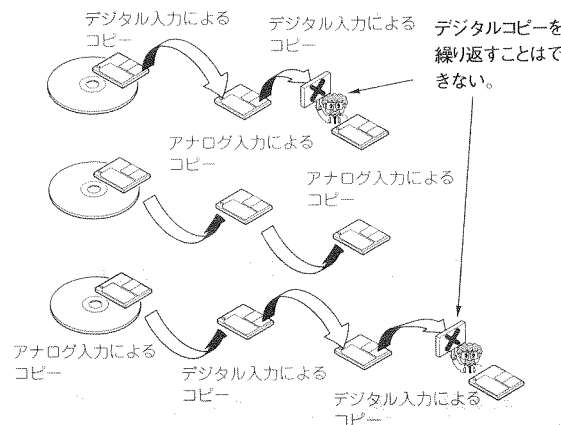
衛生放送によっては、SCMSが働くことがあります。

デジタル オーディオ テープデッキ
(DAT:Digital Audio Tapedeck)

SCMS (Serial Copy Management System) について

シリアルコピーマネージメントシステムとは、著作権保護のため、各種のデジタルオーディオ機器の間でデジタル信号をデジタル信号のまま録音できるのは、一世代だけと規定したものです。

コピー禁止コードが付いているとき、「SCMS ON」と表示して録音一時停止になります。



MDのフェード録音について

本機は、FADE/DELETEキーを押すごとにフェードモードのオン/オフを切り換えます。D. REC LEVELが-38dB以下の時はFADE機能は働きません。

フェード・インの録音動作:

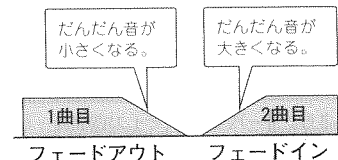
フェードモード中に停止(または録音一時停止)から録音の動作を行うと、ATT=-∞から録音を開始し、設定されている録音レベルまでフェード・インし、録音を続けます。

フェード・アウトの録音動作:

フェードモード中に録音から停止の動作を行うと録音の動作は、現在の録音レベルからATT=-∞までフェード・アウトし、停止します。ただし、ディスクの最終まで録音しようとする時は、自動的にフェード・アウト後、録音→停止します。

フェードイン/フェードアウトとは

フェードアウト : だんだん音を小さくして曲が終わること
フェードイン : だんだん音を大きくして曲が始まること



市販の録音用ミニディスクを使うと、録音後に各種の編集を行なうことができます。再生専用のミニディスクは編集できません。
("PGM"表示点灯のときは、編集できません。)

MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認ください。 → 52

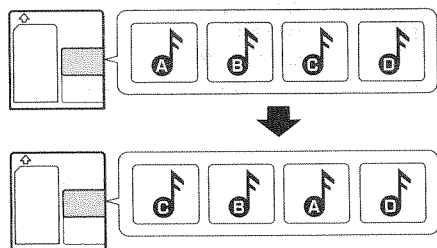
本機で編集中は、サイバータイ틀ー (CT-G90別売またはCT-H90別売) からのタイ틀ー転送はできません。

編集機能のタイプを選ぶ

曲の入れ換え

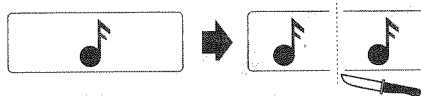
再生中の曲を入れ換える (TRACK MOVE) → 32

曲をまとめて入れ換える (QUICK MOVE) → 34



曲の分割と結合

再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE) → 36

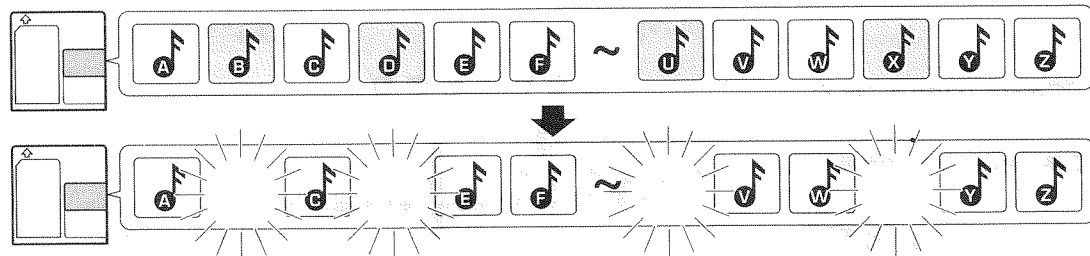


再生中の曲をつなぐ (TRACK COMBINE) → 38

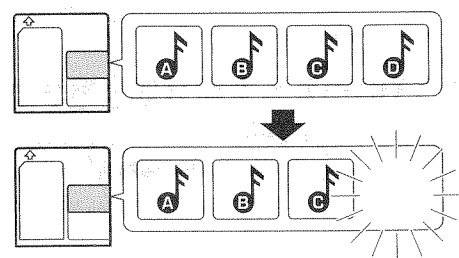


任意の曲の消去 (QUICK ERASE)

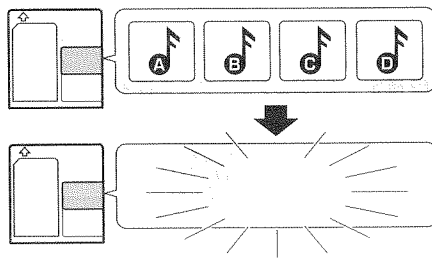
任意の曲を消す (QUICK ERASE) → 42



再生中の曲を消す (TRACK ERASE) → 40



全曲消す (ALL ERASE) → 42



タイ틀ー編集のしかた

→ 44

ミニディスクや曲にタイ틀ーをつけたり、タイ틀ーを変更、消去することができます。

移動させたい曲を選んで、目的のトラック番号の位置へ移動(挿入)します。前後の曲のトラック番号は、自動的に調整されます。

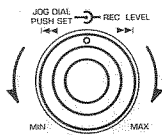
準備しましょう

- ① MDの移動させたい曲を再生する。
エディット スペース
- ② EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

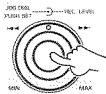
再生中の曲を入れ換える (TRACK MOVE)

1 "MOVE"を選ぶ

① "MOVE"を選ぶ



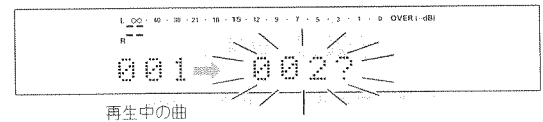
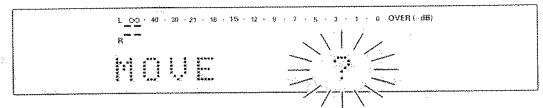
② 確定する(ジョグダイヤルを押す)



ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

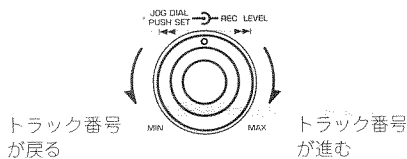
- ① ディバイド DIVIDE ? : 曲を分ける
- ② コンバイン COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ③ イレイズ ERASE ? : 曲の消去
- ④ ムーブ MOVE ? : 曲順を入れ換える

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

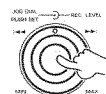


2 移動先の曲を選ぶ

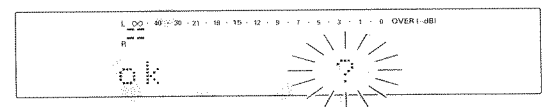
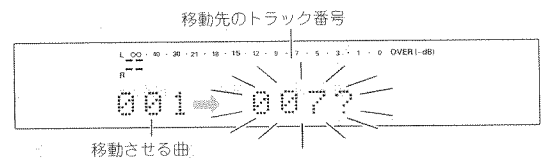
① 移動先の曲(トラック番号)を選ぶ



② 確定する(ジョグダイヤルを押す)



移動例: 1曲目を7曲目にする。



3 曲順の入れ換えを実行する

ENTER
/TIME DISPLAY



実行後の表示

エディット
EDIT NOW! : 編集中

コンプリード
COMPLETE! : 編集完了

キャンセル エディット
CAN'T EDIT : 編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 誤って実行をした場合は、"エディット キャンセルEDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

- 33

4 ミニディスクを取り出す



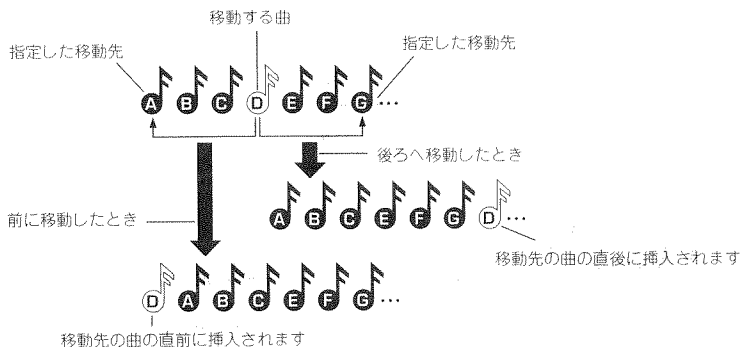
情報を書き込み中

ミニディスク排出



ライティング
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲を移動するイメージ



エディット キャンセル

編集した内容を取り消すとき(EDIT CANCEL)

ミニディスクを取り出す前に、次のキー操作をすると、ディスクを入れた状態に戻すことができます。

取り消し後、あらためて各編集の操作をしてください。

EDIT CANCEL



SET



ENTE



- 録音作業をした場合、および"ディスク エラーDISC ERROR"表示後の編集は、取り消しができませんのでご注意ください。

並べたい順に曲(トラック番号)を選んで、まとめて曲順を入れ換えます。

準備しましょう

- ① MDを停止する。
エディット スペース
- ② EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

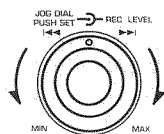
曲をまとめて入れ換える (QUICK MOVE)

クイック ムーブ

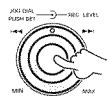
1 "Q. MOVE"モードを選ぶ

クイックムーブ

- ① Q. MOVEにする



- ② 確定する(ジョグダイヤルを押す)



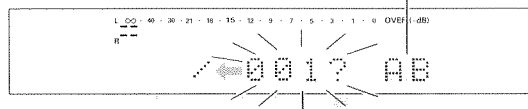
ジョグダイヤルを回すたびに切り替わります。

- ① Q. MOVE? : 曲をまとめて入れ換える
- ② Q. ERASE? : 曲をまとめて消去

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



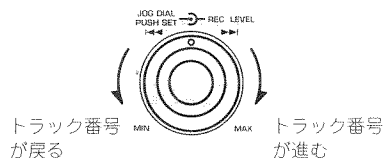
タイトルスクロール



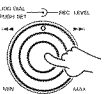
●中止するときは、もう一度EDIT/SPACEキーを押します。

2 移動したい曲を選ぶ

- ① 曲(トラック番号)を選ぶ



- ② 確定する(ジョグダイヤルを押す)



手順①と②を繰り返して、移動したい曲を選びます。

選ばれたトラック番号



●FADE/DELETEキーを押すと、最後に選んだ曲に限り取消しができます。(それ以前に選んだ曲の取消しをするには、いったん編集を中止し、最初からやりなおしてください。)

●◀◀キー(または▶▶キー)で、選んだ曲順の確認ができます。

次のトラック番号



選ばれたトラック番号

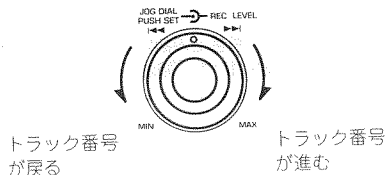
3 移動したい曲の選択を終了する

ENTER
/TIME DISPLAY

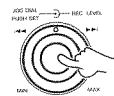


4 移動先を決める

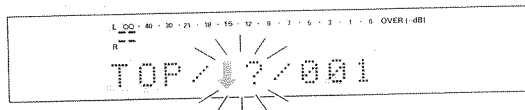
① 移動先の曲を選ぶ



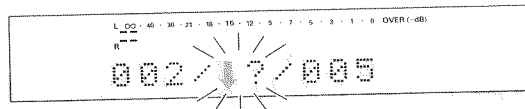
② 移動先を確定する(ジョグダイヤルを押す)



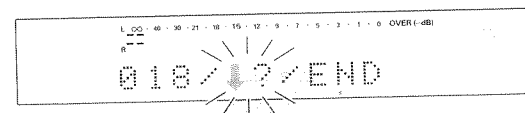
トラック番号の最初に移動したとき:



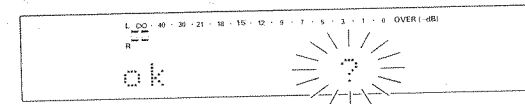
トラック番号の間に移動したとき:



トラック番号の最後に移動したとき:



確定したとき:



5 曲順の入れ換えを実行する



6 ミニディスクを取り出す



実行後の表示

エディット
EDIT NOW ! : 編集
コンプリー
COMPLETE ! : 編集完了
キャンセル エディット
CAN' T EDIT : 編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 表示が "COMPLETE !" 点灯中に、▲キーやPOWERキーを押すと、並べ換えが途中で中断されることがあります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL" の操作をすると編集前の状態に戻ります。

- [33]



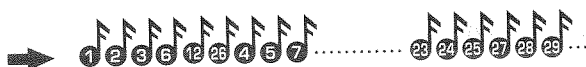
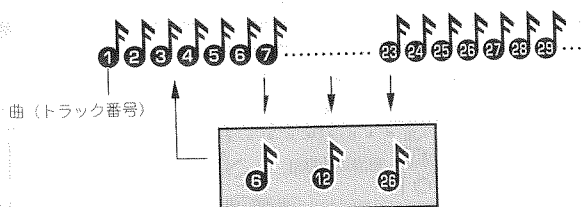
情報を書き込み中

ミニディスク排出



"WRITING" 表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲順をまとめて入れ換えるイメージ



曲の途中にトラック番号(曲番号)を追加することにより、曲を分割します。特に聴きたいところにトラック番号を追加しておく、再生のときスキップができるので便利です。分割した曲より後ろでは、トラック番号が自動的に繰り上がります。プレビューを使って、分割点を繰り返し聴きながら微調整ができます。

準備しましょう

- ① MDの分割したい曲を再生する。
エディット スペース
- ② EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、「MD規格上の症状」をご確認ください。 - [52]

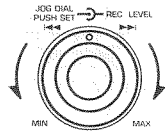
再生中の曲を分ける (TRACK DIVIDE)

トラック ディバイド

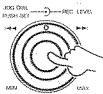
1 "DIVIDE"を選ぶ

ディバイド

① "DIVIDE"を選ぶ



② 確定する(ジョグダイヤルを押し)

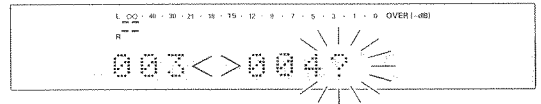


プレビューをしないときは、一度ENTERキーを押して("ok ?"と表示)から手順②へ進みます。

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

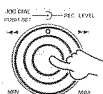
- ① ^{ディバイド} DIVIDE ? : 曲を分ける
- ② ^{トラック} COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ③ ^{イレース} ERASE ? : 曲の消去
- ④ ^{ムーブ} MOVE ? : 曲順を入れ換える

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

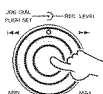


2 プレビューをするとき

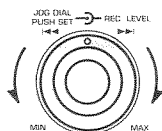
① 分割モードにする



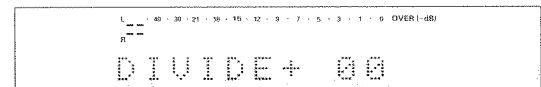
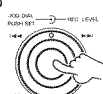
② プレビューの実行



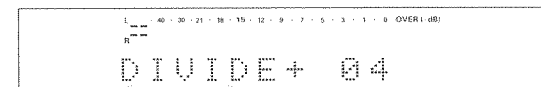
③ 分割の微調整をする



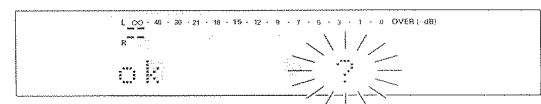
④ 分割点を確定する



- 分割点の最初の3秒を繰り返します。
- 曲の最後のところでプレビューをすると、次の曲(最終曲の場合は1曲目)へと続けてプレビューしますが、次の曲に入ったところでは、ディバイドできません。



- 音を聴きながら、微調整ができます。
- 分割点の微調整は、始めに^{エディット スペース}EDIT/SPACEキーを押したところから後に、約60mS(6/100秒)単位で32ステップ可能です。分割したいところより、少し手前で操作してください。



3 曲の分割を実行する

ENTER
/TIME DISPLAY



手順①～②を繰り返して、最大255までトラック番号を追加できます。

実行後の表示:

EDIT NOW! : 編集集中

COMPLETE! : 編集完了

CAN'T EDIT : 編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 曲が2つに分けられます。
- 分けられた後半の曲から一時停止になります。
- 分割で生まれた曲間には、無録音部分がありません。
- MDの規格の制限で、曲を分けられない場合があります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

→ 33

4 ミニディスクを取り出す



情報を書き込み中

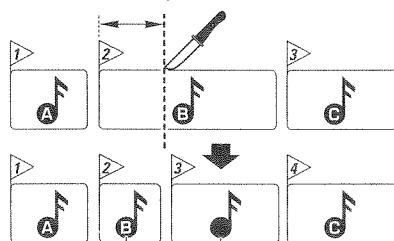
ミニディスク排出



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲を分割するイメージ

約2秒以上必要

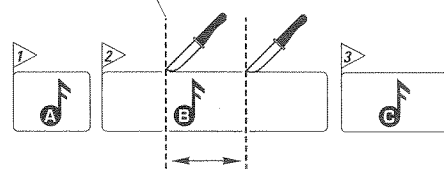


分割された曲 (後半)

分割された曲 (前半)

プレビューのイメージ

EDIT/SPACEキーを押したところ



約2秒

微調範囲32ステップ

トラック番号を削除することにより、2つの曲をつないで1曲にします。いくつかの曲や、細かく分割されている曲をまとめることができます。つないだ曲より後ろの曲は、トラック番号が自動的に減少します。

準備しましょう

- ① MDのつなぎたい曲を再生する。
エディット スペース
- ② EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

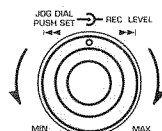
MD規格上の機能制限について

MDのいくつかの機能には、規格上の制限があります。故障とお考えになる前に、"MD規格上の症状"をご確認ください。 - [52]

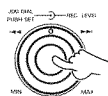
再生中の曲をつなぐ (TRACK COMBINE)

1 "COMBINE"を選ぶ

① "COMBINE"を選ぶ



② 確定する(ジョグダイヤルを押す)



再生中の曲を、次の曲とつなぐ場合は手順③へ進みます。

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

再生中:

- ① ディバイド DIVIDE ? : 曲を分ける
- ② コンバイン COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ③ イレース ERASE ? : 曲の消去
- ④ ムーブ MOVE ? : 曲順を入れ換える

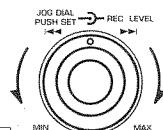
●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

L 00 - 40 - 30 - 21 - 10 - 15 - 12 - 9 - 7 - 5 - 3 - 1 - 0 OVER (dB)
COMBINE ?

L 00 - 40 - 30 - 21 - 10 - 15 - 12 - 9 - 7 - 5 - 3 - 1 - 0 OVER (dB)
005 + 006 ?
現在再生中の曲 次の曲

- 再生中に曲をつなぐ場合、目的の2曲のうち、前半となる曲の再生中にEDIT/SPACEキーを押してください。(再生中の曲と、直後の曲がつながります)
- 再生中に編集を始めると、一時停止になります。

2 つなぎたい曲を選ぶ



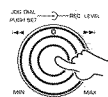
トラック番号
が戻る

トラック番号
が進む

5曲目と7曲目をつなぐ場合:

L 00 - 40 - 30 - 21 - 10 - 15 - 12 - 9 - 7 - 5 - 3 - 1 - 0 OVER (dB)
005 + 007 ?

3 確定する



L 00 - 40 - 30 - 21 - 10 - 15 - 12 - 9 - 7 - 5 - 3 - 1 - 0 OVER (dB)
ok ?

4 曲と曲の結合を実行する

ENTER
/TIME DISPLAY



実行後の表示

EDIT NOW! : 編集エディット中

COMPLETE! : 編集コンプリー完了

CAN'T EDIT : 編集キャン不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 再生中に編集を始めた場合は、その曲で一時停止になります。
- MD規格の制限で、曲をつなぐことができない場合があります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

→ 33

5 ミニディスクを取り出す



情報を書き込み中

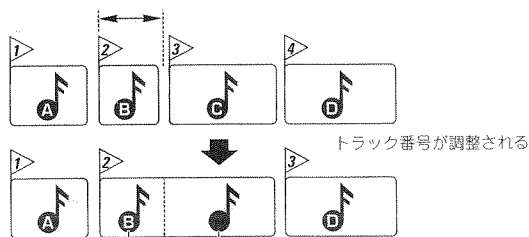
ミニディスク排出



"WRITING"表示中は、ライティング情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

曲をつなぐイメージ

約2秒以上必要



後半部のトラック番号とタイトルは消える

前半部のトラック番号とタイトルが残る

再生中にその曲のみ消去することができます。
消去すると元に戻せない場合がありますので、十分注意してください。

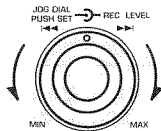
準備しましょう

- ① 消したい曲を再生する。
- ② EDIT/SPACEキーを押す、編集モードをオンにする。

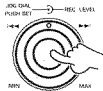
再生中の曲を消す (TRACK ERASE)

1 "ERASE"を選ぶ

① "ERASE"を選ぶ



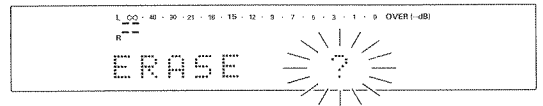
② 確定する(ジョグダイヤルを押す)



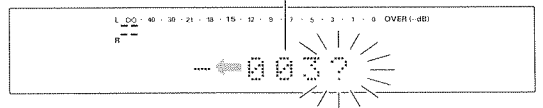
ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① DIVIDE ? : 曲を分ける
- ② COMBINE ? : 曲をつなぐ
- ③ ERASE ? : 曲の消去
- ④ MOVE ? : 曲順を入れ換える

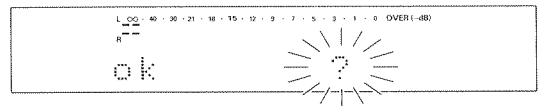
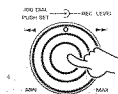
●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。



消去するトラック番号



2 消去の確認



消去の確認

3 消去を実行する



実行後の表示

エディット
EDIT NOW ! : 編集中
コンプリート
COMPLETE ! : 編集完了
キャンセル エディット
CAN'T EDIT : 編集不完全

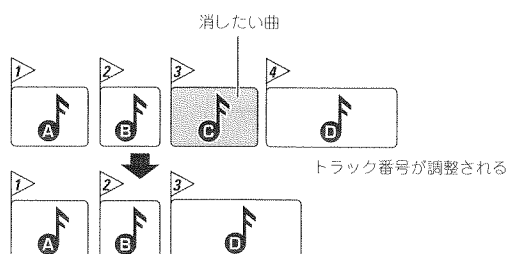
- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 再生中の曲が消去されます。(トラックタイトル含む)
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

4 ミニディスクを取り出す



ライティング
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

消したい曲のイメージ



停止中に、任意の曲を簡単に消去することができます。
消去すると元に戻せない場合がありますので、十分注意してください。

準備しましょう

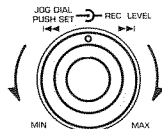
- ① MDを停止する。
エディットスペース
- ② EDIT/SPACEキーを押し、編集モードをオンにする。

任意の曲を消す (QUICK ERASE)

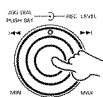
クイック イレース

1 "Q.ERASE"を選ぶ

- クイックイレース
- ① Q.ERASEを選ぶ

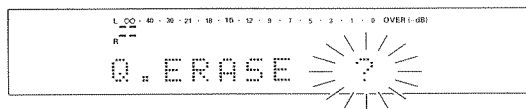


- ② 確定する(ジョグダイヤルを押す)

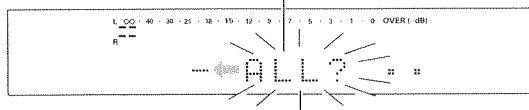


ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① Q. MOVE? : 曲をまとめて入れ換える
クイックムーブ
- ② Q.ERASE? : 曲をまとめて消去
クイックイレース



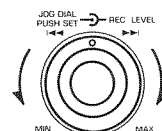
全曲消去の確認



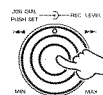
全曲を消去する場合は、手順③へ進みます。

2 任意の曲を消去する

- ① 消すトラック番号を選ぶ

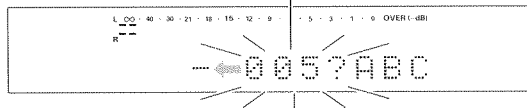


- ② 確定する(ジョグダイヤルを押す)



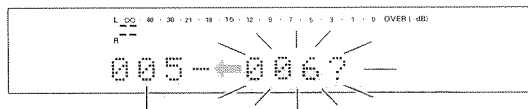
手順①から②を繰り返し、任意の曲を消去することができます。

選んだ曲



タイトルスクロール

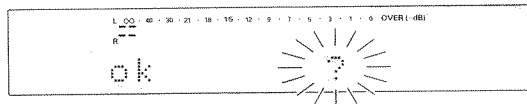
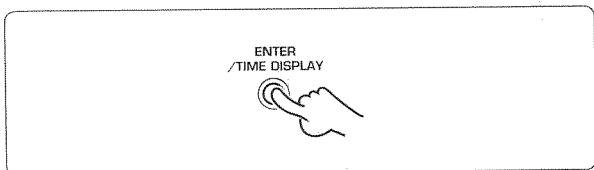
- FADE/DELETEキーを押すと、最後に選んだ曲に限り取消しができます。
(それ以前に選んだ曲の取消しをするには、いったん編集を中止し、最初からやりなおしてください。)
- ◀◀キー(または▶▶キー)で、選んだ曲の確認ができます。



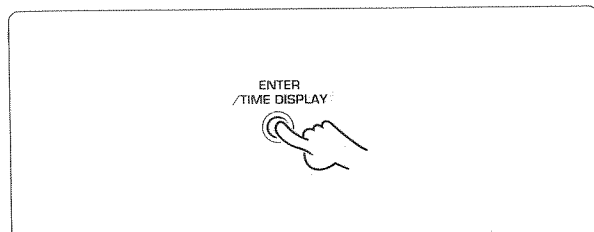
選んだ曲

次の曲

3 消去したい曲の選択を終了する



4 消去を実行する



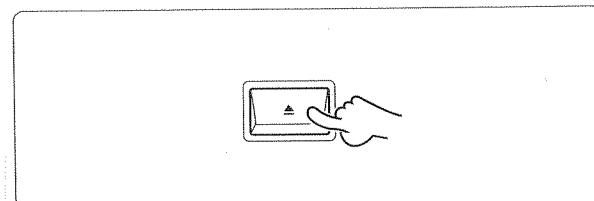
実行後の表示

- エディット EDIT NOW ! : 編集集中
- コンプリート COMPLETE ! : 編集完了
- キャンセル エディット CAN'T EDIT : 編集不完全

- 処理が終了するまで、少し時間がかかります。
- 誤って実行をした場合は、"EDIT CANCEL"の操作をすると編集前の状態に戻ります。

→ [33]

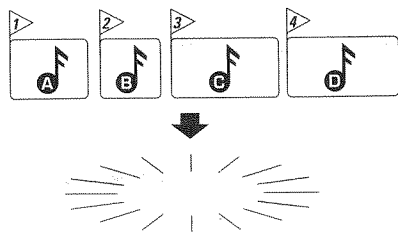
5 ミニディスクを取り出す



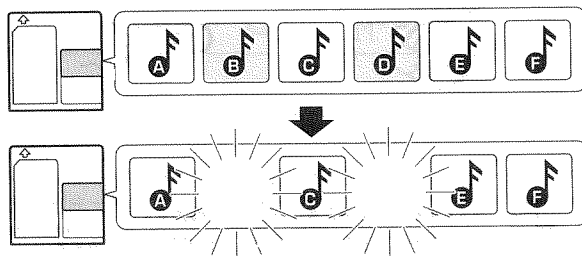
"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

任意の曲の削除 (QUICK ERASE) イメージ

全曲を消去したとき：

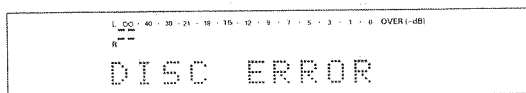


任意の曲を消去したとき：



"DISC ERROR"表示をしたときは

正常なはずのミニディスクが、"ディスク エラーDISC ERROR"表示になった時、"全曲消す (オール イレースALL ERASE)"の操作をする前に、もう一度ミニディスクを入れ直してください。正常にミニディスクの内容が読める場合があります。



- "ディスク エラーDISC ERROR"表示後"オール イレースALL ERASE"操作は可能ですが、"エディット キャンセルEDIT CANCEL"はできません。

ミニディスクや曲にタイトルを付けておくと、再生のとき表示されるだけでなく、タイトルサーチ(タイトルで曲を探す)が可能になります。入力したタイトルは、同じ手順で変更や消去ができます。

準備しましょう

- ① MDを停止、再生または録音する。
タイトル インプット
- ② TITLE INPUTキーを押し、タイトル入力モードをオンにする。

プリセットタイトルについて

良く使うタイトルやお好みのタイトルを、任意のプリセットタイトルに記憶しておく、タイトル編集が簡単に行うことができます。お好みによりプリセットタイトル名の変更やミニディスクへそのタイトルを入力するには"タイトル編集のしかた"の操作で行います。

初期設定は次の通りです。

PRE1:Pops、PRE2:Rock、PRE3:Classic、PRE4:Jazz、PRE5:Disco、
PRE6:Best Hits、PRE7:Air Check、PRE8:No.、PRE9:Vol.、

- 変更したプリセットタイトルを初期設定に戻すには、"マイコンをリセットするには"を参照してください。

→ 52

タイトル編集のしかた

1 変更したい項目を選ぶ

① トラックタイトルかディスクタイトルを選ぶ

戻る 進む

② 確定する

ジョグダイヤルを押し

SET

中止するときは、もう一度TITLE INPUTキーを押します。



タイトルを入力するときは、手順②へ進みます。
タイトルを変更または削除するときは、手順③へ進みます。

入力できる文字数について

ミニディスク全体で最大1792文字、1曲につき最大80文字まで入力できます。(英、数、記号の場合)
カタカナを使用した場合は、1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。
スペース(1文字ぶんの空白)も、文字と同じ量のデータを必要とします。タイトル消去のときはスペースを入力するのではなく、文字の削除(DELETE)をご利用ください。

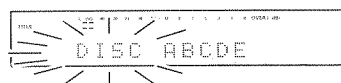
ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① DISC : ディスクタイトル
- ② 001 : トラックタイトル
- ③ PRE 1-PRE 9 : プリセットタイトル
- ④ ALL ERASE? : ディスクとトラックの全タイトル消去
- ⑤ CDtext LOAD? : テキストコピーの準備(停止中のみ)

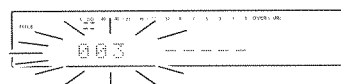
●"CDtext LOAD?"表示は、ケンウッド製のCDテキスト対応のCDプレーヤーを接続したときのみの仕様です。

●途中で8秒以上放置すると、編集は中止されます。

ディスクタイトルのとき:"DISC"を選びます。



トラックタイトルのとき:目的のトラック番号を選びます。



プリセットタイトルのとき:目的のプリセット番号を選びます。



ディスクとトラックの全タイトル消去のとき:



タイトル編集可能文字

次のようなカタカナ文字やアルファベット文字、並びに各種記号(ASCIIコード)などを選ぶことができます。

英字の大文字26種類: ABCD~WXYZ

英字の小文字26種類: abcd~wxyz

数字10種類: 0123456789

スペース&記号25種類: !"#\$%&'()*+,-./:;<=>?'@_

カタカナ文字81種類: アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニ
ヌネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワヲ
ン

アイウエオツヤユヨ

ウガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボ

バビブベポー

カタカナの濁音、半濁音は本体のドット表示管には、2文字文使用して表示しています。

例:

ケ	ン	ウ	ツ	ト	・
---	---	---	---	---	---

2 タイトルを入力するとき

本体

リモコン

① 文字グループを選ぶ

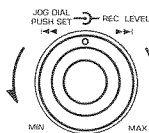
REC MODE
/CHARAC.

CHARA.

P.MODE

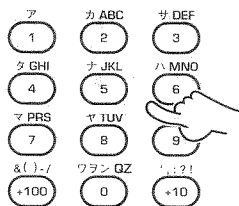


② 文字を選ぶ



戻る

進む



または



下記の文字グループを選ぶことができます。

- ・ A～Zと、スペース(1文字分の空白)
- ・ a～zと、スペース
- ・ 0～9と、各種記号、プリセットタイトル(9つ)
- ・ カタカナと、スペース

ジョグつまみを操作するたびに切り換わります。

- ・ A～Zと、スペース(1文字分の空白):

→ A → B → C → D → E → F → → X → Y → Z →

- ・ a～zと、スペース:

→ a → b → c → d → e → f → → x → y → z →

- ・ 0～9と、各種記号、プリセットタイトル(9つ):

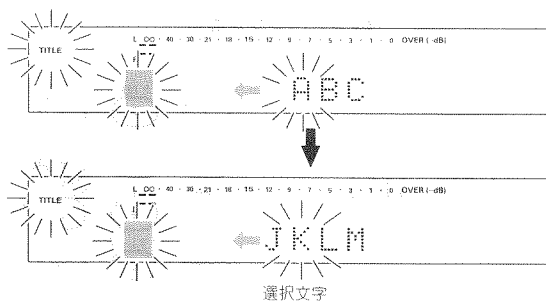
→ 0 → 1 → → 9 → → ! " / : ; →
PRE9 ← ← PRE1 ← ← @ ← ? ← ← ; ←

- ・ カタカナと、スペース:

→ ア → イ → ウ → → レ → ロ → ワ → ラ → ン → ア → イ
← ← ← ← ← ポ ← ペ ← プ ← ← ガ ← ヴ ← ヨ ← ← ウ →

新規にタイトル入力する例:

初期表示



選択文字

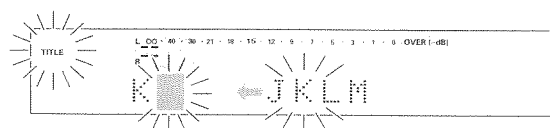
- 表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。
- リモコンでも、数字キーで直接文字を選ぶことができます。(例: [2] キーを押したとき、A→B→Cと切り換わります。)
- ◀◀、▶▶キーで、カーソルを左右に移動できます。
- タイトル入力の際、TITLE SEARCHキーを押すと、「上書きモード」、「挿入モード」に切り換わります。
- リモコンでカタカナの小さい文字、濁音、半濁音を入力したい時は、入力したい文字を数字キーまたは◀◀、▶▶キーを何度か押して選択した後、SETキーを押してください。

③ 文字を確定する

ジョグダイヤルを押す



手順①～③を繰り返して、タイトルを入力します。

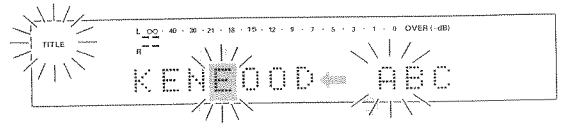


- EDIT/ SPACEキーで、1文字分のスペースを挿入することができます。



手順が次のページに続きます。

46 **3** タイトルの変更または消去するとき



選択文字、点滅

- 変更するタイトルが長く、表示部に入らない場合、◀◀、▶▶キーを押していくと表示がスクロールし、それまで表示されていた部分が現われます。
- 目的の文字を消したいときは、**FADE/DELETE**キーを押します。



下記の文字グループを選ぶことができます。

- ・ A～Zと、スペース(1文字分の空白)
- ・ a～zと、スペース
- ・ 0～9と、各種記号、プリセットタイトル(9つ)
- ・ カタカナと、スペース

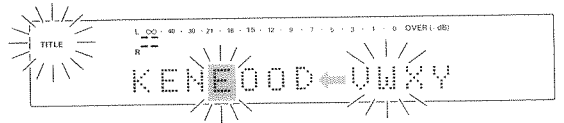
押すたびに切り換わります。

- ① 上書きモード：文字の上から入力するとき
- ② 挿入モード：文字の前または後ろから入力するとき

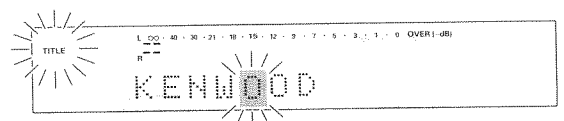
カーソルの種類

- 上書きモード：カーソル"  "が大きくなる
- 挿入モード：カーソル"  "が小さくなる

正しい文字を選択(上書きモード)：



- 表示がスクロールして、(同じグループ内の)すべての文字を選ぶことができます。
- リモコンでも、数字キーで直接文字を選ぶことができます。(例：[2]キーを押したとき、A→B→Cと切り換わります。)
- ◀◀、▶▶キーで、カーソルを左右に移動できます。

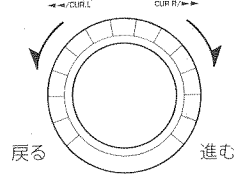
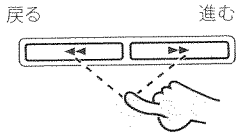


カーソルが移動

本体

リモコン

① カーソルを目的の(変更する)文字に合わせる



② 文字グループを選ぶ

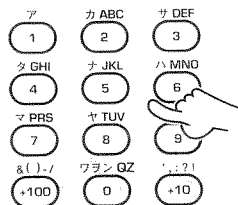
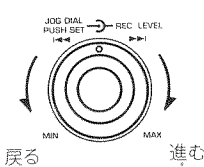


③ "上書き"または"挿入"モードを選ぶ

(リモコンのみ)



④ 正しい文字を選ぶ

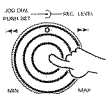


または



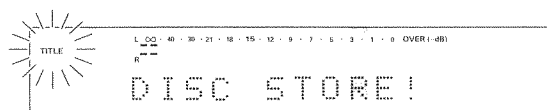
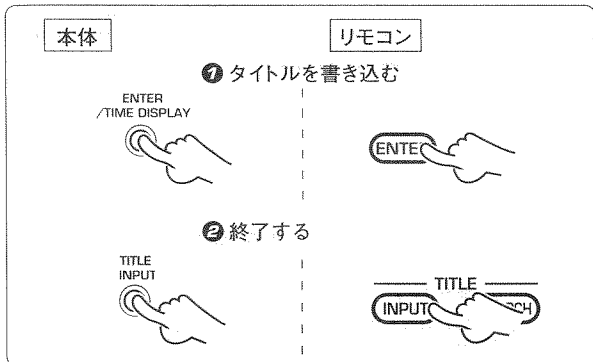
⑤ 文字を確定する

ジョグダイヤルを押す



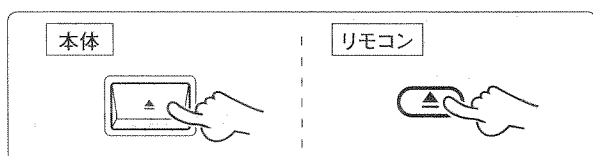
手順①～⑤の繰り返しで、タイトルのすべての文字を変更できます。

4 タイトルの編集を実行する



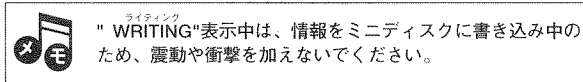
タイトルがスクロールする

5 ミニディスクを取り出す



情報を書き込み中

ミニディスク排出



" WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

タイトル編集機能キーについて

レック モード キャラクター REC MODE/CHARAC.キー:

文字選択部に表示される文字のグループが切り換わります。

マニュアルサーチ(◀▶)キー:

タイトル入力するとき、カーソルの移動ができます。

カーソルが [] (下半分のみ) のとき: 入力する文字はカーソルのある文字の前に入ります。

カーソルが [] のとき: カーソルのある文字が新しく入力する文字に置き換えられます。

フォワード フリット FADE/DELETEキー:

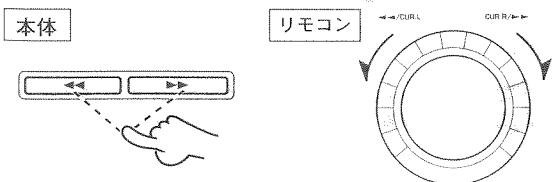
カーソルを合わせた文字が消去(削除)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん前に詰められます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力する)と、簡単にタイトルを消去できます。

エディット スペース EDIT/SPACEキー:

カーソルを合わせた文字の直前にスペース(1文字ぶんの空白)が入力(挿入)され、それよりも後ろの文字が1文字ぶん後ろに送られます。続けて押す(または押したままにして繰り返し入力する)こともできます。おもにタイトルに文字を追加するとき、追加する場所を先に作っておくために使います。

表示部のスクロールについて

タイトルを入力しているなど、情報の量が多すぎて表示部に入りきらないことがあります。このようなときは、◀▶キーを続けて操作していくと、表示部の文字が右(または左)に流れて、それまで見えなかった内容が現われます。このような表示の動きを「スクロール」といいます。



スクロールの例

表示される範囲 (全体を表示できない)

ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ

スクロール→

ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ

←スクロール

ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ

CDテキスト表示とコピー

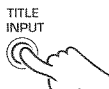
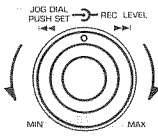

DMF-7003/DMF-7003G (J)

本機とCDプレーヤーDPF-7002/DPF-5002(別売)をシステムコントロールコードとデジタルコードまたは光ファイバーケーブルを接続したときに、CDディスクのテキスト(ディスクタイトル、トラックタイトル)を表示したりMDにコピーすることができます。テキストのみのコピーはできません。なお、ディスクによってはCDテキストがコピーできない場合があります。

- 準備しましょう
- ① アンプの入力切り換えをCDにする。
 - ② CDのPGMモードをOFFにする。
 - ③ CDとMDを停止する。
 - ④ MDをCDに接続しているDIGITALモードにする。

本機で編集中は、サイバータイトラー (CT-G90別売またはCT-H90別売) からのタイトル転送はできません。

CDテキストを取り込む (表示する) には

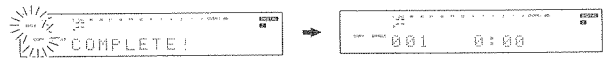
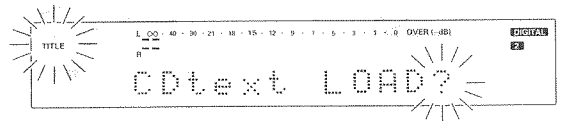
- ① "TITLE INPUTモード"をオンにする

- ② "CDtext LOAD?"を選ぶ

- ③ 確定する(ジョグダイヤルを押す)


押すたびに切り換わります。

- ① TITLE 消灯: TITLE INPUT モードオフ
- ② TITLE 点滅: TITLE INPUT モードオン

ジョグダイヤルを回すたびに切り換わります。

- ① DISC : ディスクタイトル
- ② 001 : トラックタイトル
- ③ PRE 1-PRE 9 : プリセットタイトル
- ④ ALL ERASE? : ディスクとトラックの全タイトル消去
- ⑤ CDtext LOAD? : テキストコピーの準備



- 確定の操作をすると、CDからMDへ、テキスト(ディスクタイトル、トラックタイトル)が送信されます。
- CDテキスト表示を行わないCDプレーヤーでは、取り込み後CDの再生に合せてトラックに対応するCDテキストを表示します。

実行後の表示

- COMPLETE! : 取り込み完了
- CAN'T LOAD : 取り込み不完全
- CAN'T ACCESS: CDテキスト対応のCDプレーヤーが接続されていない。
- CDtext EMPTY : テキストCDではない。CDディスクが入っていない。
- Now Analog In : アナログモードのため、取り込めなかった。
- UNLOCK : デジタルコードまたは光ファイバーケーブルがはずれているか、接続が不完全であるため、取り込めなかった。

取り込んだCDテキストデータを削除するには
 "COPY"点灯時、REC INPUTキーを押してモードを切り換えます。

CDテキストをコピーするには

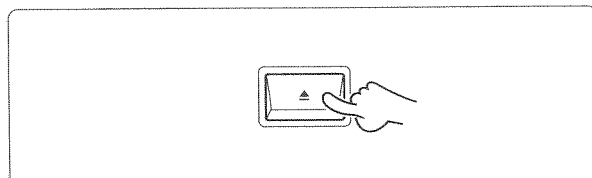
- ① CDテキストを取り込む
- ② CDをMDにDIGITAL録音する

- 録音を途中で中止したいときは、CDプレーヤーの■キーを押します。
- CDテキストのコピーを途中で中止したいときは、コピーしているCDディスクを取り出します。

実行後の表示

- NO TEXT COPY : コピーができない(CDがコピーを禁止している場合)

取り込み、コピー終了後、ミニディスクを取り出す



"WRITING"表示中は、情報をミニディスクに書き込み中のため、震動や衝撃を加えないでください。

- 取り込まれたCDテキストデータは、自動的に削除されます。

本機に、サイバー・タイトラー(別売)を専用通信ケーブルで接続することにより、録音用MDへのタイトル入力からMDケースやカセットケースへのラベルプリントの作成ができます。

またMD録音中に離れた場所でのタイトルの打ち込みができ、そのデータを本機に転送し編集後、再びサイバー・タイトラーにデータを転送するなど、タイトル編集が双方向通信で行えます。

詳しくは、サイバー・タイトラー(CT-G90別売、およびCT-H90別売)の取扱説明書をお読みください。

但し、本機では漢字のタイトル編集はできません。

本機で編集中は、サイバータイトラー(CT-G90別売またはCT-H90別売)からのタイトル転送はできません。

タイトル編集例

サイバー・タイトラーで、MDに貼るラベルを作るとき

- ① サイバー・タイトラーでタイトルを入力する。
または、MDからタイトルを読み込む。
- ② サイバー・タイトラーでタイトルをどのようにプリントするか選ぶ。
- ③ サイバー・タイトラーでプリントする。

サイバー・タイトラーで、MDにタイトルを入力するとき

- ① サイバー・タイトラーでディスクや曲のタイトルを入力する。
- ② サイバー・タイトラーとMDレコーダーをつなぐ。
- ③ サイバー・タイトラーからMDレコーダーへタイトルを送る。
- ④ MDにタイトルが入力される。

サイバー・タイトラーでタイトル作成をし、MDレコーダーでタイトル編集をして、サイバー・タイトラーでラベルを作るとき

- ① サイバー・タイトラーでタイトルを入力する。
- ② サイバー・タイトラーとMDレコーダーをつなぐ。
- ③ サイバー・タイトラーからMDレコーダーへタイトルを送る。
- ④ MDレコーダーで、タイトルを編集する。
- ⑤ MDレコーダーからサイバー・タイトラーへタイトルを送る。
- ⑥ サイバー・タイトラーでタイトルをどのようにプリントするか選ぶ。
- ⑦ サイバー・タイトラーでプリントする。

接続に使用するケーブルについて

接続には、必ずサイバー・タイトラー付属の専用通信ケーブルをご使用ください。付属の専用通信ケーブル以外のものをご使用になると正しく動作しません。

また、付属の専用通信ケーブルに市販の延長ケーブルを接続された場合、誤動作をしたり、他の機器への電波障害を与えることがあります。

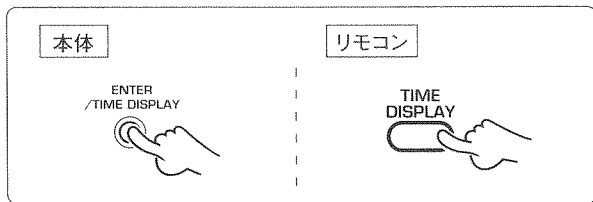
ディスプレイ表示の切り換えかた

タイム ディスプレイ

DMF-7003/DMF-7003G (J)

50 TIME DISPLAY キーについて

時間表示のタイプを切り換えることができます。



押すたびに切り換わります。

再生中/停止中

- ① SINGLE(+) シングル : 曲の経過時間
- ② SINGLE(-) トータル : 曲の残り時間
- ③ TOTAL(+) トータル : 曲の総経過時間
- ④ TOTAL(-) リメイン : 曲の総残り時間(停止中は、総曲数も表示)
- ⑤ REMAIN タイトル : ミニディスクの録音可能残量時間
- ⑥ TITLE : トラックタイトル表示(再生中)/ミニディスクタイトル表示(停止中)

録音中

- ① SINGLE(+) シングル : 録音中の曲の経過時間
- ② TOTAL(+) リメイン : 再生、録音の総経過時間
- ③ REMAIN : ミニディスクの録音可能残量時間

1曲も録音されていない場合

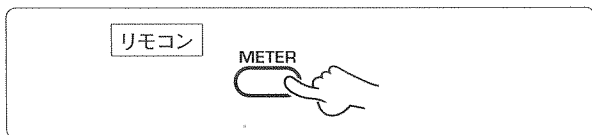
- ① SINGLE(+) シングル : "BLANK DISC"と表示(ディスクタイトルがある場合、"NO TRACKS"と表示)
- ② REMAIN リメイン : ミニディスクの録音可能残量時間
- ③ TITLE タイトル : ミニディスクタイトル表示

メーター

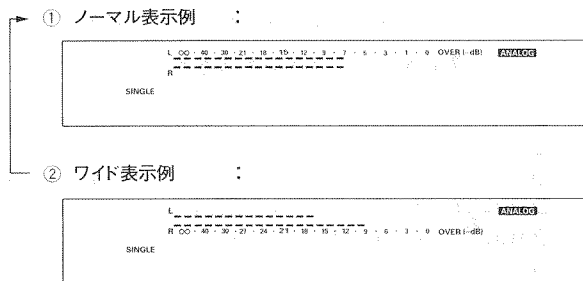
METERキーについて

レベルメーターの表示内容をサイクリックに切り換えることができます。

1. ノーマル表示 : 0dB近辺のスケールが細かく設定してあるモード。通常録音(ロック)や再生(ポップス)に適したレベルメーターです。
2. ワイド表示 : 0dBから30dBまでほぼ等間隔にスケールが設定してあるモード。クラシックなどの微小レベルから高いレベルまでの激しい音楽を再生するのに適したレベルメーターです。



押すたびに切り換わります。

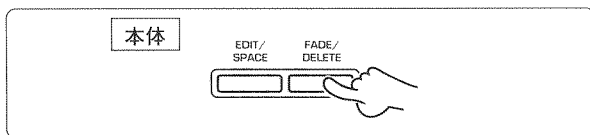


フェード

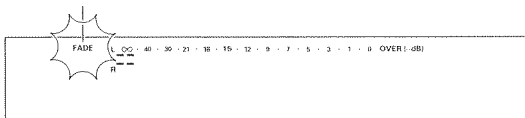
FADEキーについて

フェードモードをオンにすることにより、曲を録音するとき、音をだんだん大きくしたり小さくしたりすることができます。

電源が入っているとき、REC INPUTがDIGITALの場合、通常の停止中および録音中に有効となります。解除するときには、再度FADE/DELETEキーを押します。D. REC LEVELが-38dB以下の時はFADE機能は働きません。



"FADE"点灯

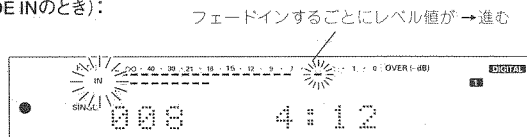


フェードイン/フェードアウトの表示

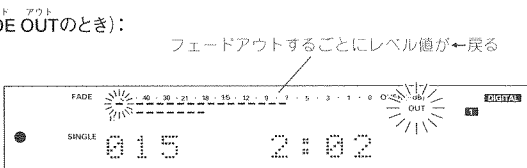
レンジ上段 : フェードイン/フェードアウトのときの状態をグラフ表示する。

レンジ下段 : その時のRch+Lchのレベルによって点灯する。

例(FADE INのとき):



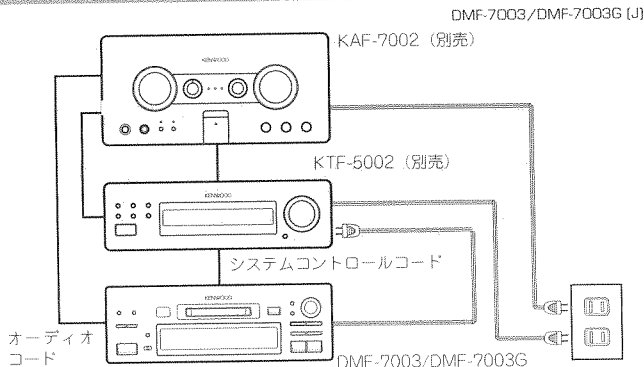
例(FADE OUTのとき):



タイマーを利用して

市販のタイマーを利用して、お好きな時刻に再生や録音をすることもできます。

各機器の電源コードは、タイマーを通して電源が入るように接続します。
使用するタイマーの取扱説明書をよくお読みください。
3日以上、電源が入らないようなタイマー録音設定はしないでください。最後の録音内容が消える場合があります。
"メモリーバックアップ" → 9



タイマー再生、タイマー録音

1 各機器の電源をONにする

●本機もPOWERキーをオンにします。

2 準備をする

タイマー再生するとき

録音済みミニディスクを入れる

タイマー録音するとき

- ① 録音用ミニディスクを入れる
- ② 希望の放送局を受信する
- ③ REC INPUTキーでソースに合わせる → 26
- ④ 録音レベルを調整する

- タイマー録音をする場合、誤消去防止つまみを録音可能な状態にする。 → 8
- タイマー録音をする場合、必ず録音可能時間を確認してください。 → 50

3 アンプの音量を決める

タイマー再生するとき

- ① ミニディスクを再生する
- ② アンプの音量を調節する
- ③ ディスクを停止する

タイマー録音するとき

アンプの音量を最小にする。

4 タイマースイッチを設定する

タイマー再生するとき



タイマー録音するとき



- 設定した時刻がくると、自動的にディスクの再生、または録音が始まります。(接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。)

5 タイマー時刻を設定する

タイマー再生するとき

希望の時刻がくれば本機の電源が入るようにタイマーを設定する。

タイマー録音するとき

希望の時刻がくれば本機の電源が入り、チューナーを受信するようにタイマーを設定する。

- タイマースイッチ設定後、リモコンのON/STANDBYキーをオンにすると、タイマー動作が始まりますので、注意してください。

調子が悪いと故障と考えがちですが、サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

マイコンをリセットするには

電源がオンのときの接続コードの抜き差しや、あるいは外部からの要因により、マイコンが誤動作（操作できない、ディスプレイの誤表示など）することがあります。この場合、次の手順をお試しください。マイコンがリセットされ、通常の状態に戻ります。

POWERキーがオンのままの状態、電源プラグをコンセントから抜き、イジェクト(▲)キーを押しながら、差し込みます。

- リセットにより、各種の記憶内容は消滅し、工場出荷時の状態となります。ご了承ください。

MD規格上の症状

症 状	原 因
まだ録音可能時間があるのに" ^{ディスク} DISC FULL"と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ●256曲以上(トラック番号256以上)は録音できません。(トラック番号256未満でも録音できないことがあります。) <p>このとき、ディスプレイのリメインタイム表示は、" 0:00"になります。</p>
短い曲を消しても、録音可能時間が増えない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスク全体の残り時間が12秒未満の場合は、ディスプレイのリメインタイム表示は、" 0:00"になります。消去された曲の合計時間が12秒を超えると録音可能時間の表示が変化します。 ●編集を繰り返したミニディスクの場合、短い曲を消しても、残量時間が増えないことがあります。
曲をつなぐことができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●編集処理の結果として生まれた曲は、つなげない場合があります。
録音ずみの時間と、録音可能時間の合計がMD全体の録音時間(60分、74分)と一致しない。	<ul style="list-style-type: none"> ●2秒間を最小単位として録音が行われるため、表示時間が一致しないことがあります。
編集でできた曲で早送り、早戻しをすると、音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな条件の組み合わせにより、音切れを発生する場合がありますが、故障ではありません。
トラック(曲)番号が正しく付かない。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音したソース(CDほか)の内容によっては、短い曲ができることがあります。
" ^{リーディング} READING"が表示される時間が異常に長い。	<ul style="list-style-type: none"> ●新品の録音用ミニディスク(全く録音されていないもの)を入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。 ●編集を繰り返したミニディスクやトラック番号数の多いミニディスクを入れた場合、通常よりも長い間"READING"が表示されます。
タイトルが1792文字入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ●タイトルの記録エリアは、7文字単位で使用されているため1792文字入りきらない場合があります。

ディスプレイ表示とその対応

ディスプレイ表示	意味	処置
ノー ディスク NO DISC	●ミニディスクが入っていない。	●ミニディスクを入れる。
アンロック UNLOCK	●デジタルコードまたは光ファイバーケーブルがはずれているか、接続が不完全である。(接続されていない。)	●デジタルコードまたは光ファイバーケーブルを正しく接続する。 → [10]
SCMS ON	●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。	●アナログ録音に切り換える。 → [26]
ノット オーディオ NotAudio	●入力されているデジタル信号がオーディオ信号でない。	●アナログ録音に切り換える。 → [26]
ディスク フル DISC FULL	●録音可能なエリアがない。 ●256曲目を録音しようとしている。	●録音用ミニディスクを入れ換える。 ●1枚のディスクには256曲以上録音できません。
タイトル フル TITLE FULL	●最大文字数の制限を超えて、タイトルを入力しようとしている。	●"入力できる文字数について"を参照してください。 → [44]
ブランク ディスク BLANK DISC	●何も録音されていないミニディスクです。	●再生するときは、録音済みのミニディスクに取り換える。
ノー トラック NO TRACKS	●曲は録音されていないが、ミニディスクタイトルが書かれている。	●そのまま録音して問題ありません。
リーディング READING	トック ●TOC *1 情報を読んでいます。	●故障ではありません。
ライティング WRITING	●編集、録音時の各種の情報を書き込んでいる。	●故障ではありません。
ディスク エラー DISC ERROR	ユートック ●UTOC *2 の内容が異常である。	●全曲消去"←ALL"を行う。それができないときは、ミニディスクを取り換えてください。→ [42]
エディット ナウ EDIT NOW!	●編集途中である。	●故障ではありません。
キャンスト エディット CAN'T EDIT	●長さが短すぎる曲の消去など、制限を超えて編集しようとしている。	●制限範囲内で編集する。
? の点滅	●"編集を実行してもよろしいですか"という確認のためのメッセージ。	エンター ●ENTERキーを押すと、編集が実行されます。
プロテクト PROTECTED	ライト プロテクト ●ミニディスクが"WRITE PROTECT"されている。	●"WRITE PROTECT"を解除する。 → [8]
プレイ オンリー PLAY ONLY	●再生専用ミニディスクである。	●録音用ミニディスクをいれる。
キャンスト アクセス CAN'T ACCESS	●CDテキスト対応のCDプレーヤーが接続されていない。	●ケンウッドのCDテキスト対応のCDプレーヤーとシンクロ接続する。 → [10]
キャンスト ロード CAN'T LOAD	●テキスト対応のCDディスクがCDプレーヤーに入っていない。 ●CDプレーヤーと光ケーブルが接続されていない。 ●CDプレーヤーが再生しているか、PGMモードになっている。	●テキスト対応のCDディスクをCDプレーヤーにセットする。 ●CDプレーヤーと光ケーブルを接続し、MDレコーダーのREC INPUTを合わせる。→ [19] ●CDのPGMモードをOFFにし、CD、MDを停止状態にする。
シーディーテキストエンブディー CDtext EMPTY	●CDディスクがテキストCDではない。 ●CDディスクが入っていない。	●CDテキストの記録されたCDディスクを入れる。 ●CDテキストの記録されたCDディスクを入れる。
ナウ アナログ イン Now Analog In	●アナログモードになっている。	●REC INPUTをCDプレーヤーの接続されたデジタル入力にする。 → [28]

ディスプレイ表示	意味	処置
<small>ノー テキスト コピー</small> NO TEXT COPY	<ul style="list-style-type: none"> ●CDディスクによって、コピーができないものがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ●そのCDディスクのタイトルは、コピーできません。(コピーできるCDディスクに変える)

その他の症状

症状	原因	処置
再生キーを押しても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"> ●コードの接続が間違っている。 ●ミニディスクが入っていない。 ●未録音ミニディスクが入っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●"接続のしかた"に従い正しく接続する。 → [10] ●ミニディスクを入れる。 ●録音済ディスクまたは再生用ミニディスクを入れる。
録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ●ミニディスクが書き込み禁止になっている。 ●SCMSによりデジタルコピー禁止のソースをデジタル録音しようとしている。 ●録音レベルが低い。(アナログ録音時) ●再生専用ミニディスクが入っている。 ●録音可能なエリアがない。 ●REC INPUT<small>レコーダ入力</small>キーの設定が実際の入力ソースと合っていない。 ●システムコントロールコードでシステム接続されているとき、アンプの入力切り換えがMDになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●書き込み禁止つまみを元に戻すか、録音可能なミニディスクに取り換える。 → [8] ●アナログ録音にする。 → [26] ●録音レベルを調節し直す。 → [27] ●録音用ミニディスクを入れる。 ●ミニディスクを入れ換える。 ●実際の入力ソースと合わせる。 → [26] → [28] ●アンプの入力切り換えをMD以外にする。
音がひずむ。	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたミニディスクを再生している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●録音レベルを調節する。 → [27] ●ミニディスクを交換する。
雑音が大きい。	<ul style="list-style-type: none"> ●外部の雑音を誘導している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●電気器具、テレビなどから離す。



トック
 TOC*1 : 全てのミニディスクには音声信号以外にTOC (テーブル オフ コンテンツ) という情報が記録されています。TOCとは本の目次に相当し、曲数や演奏時間、文字情報などのうち、書き直すことのできないものが入っています。 → [53]

ユートック
 UTOC*2 : TOC以外に録音用ミニディスクに特有な情報をUTOC (ユーザース テーブル オフ コンテンツ) と呼びます。このUTOCには曲数や演奏時間、文字情報のうち、書き直し可能な情報が入っています。 → [53]

保証書 (別途添付)

製品には保証書が(別途)添付されております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめの上、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みした後、大切に保管してください。

保証期間

保証期間は、お買い上げの日より1年間です。電池や、一部の消耗部品の交換、ならびに落下、水没など、不適切なご使用による故障の場合は、保証期間内でも有料となります。詳しくは保証書をご覧ください。

修理に関するご相談ならびにご不明な点は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所へお問い合わせください。(お問い合わせ先は、添付の「ケンウッドサービス網」をご覧ください。)

補修用性能部品の最低保有期間

ステレオの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後、8年間です。

この期間は、通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

シリアル番号について

システム商品の各機器にシリアル番号が付けられておりますが、保証書にはシステム管理用として、別のシリアル番号が印刷されています。

付属の保証書で、お買い上げのシステム機器(基本システム)すべての保証修理が受けられます。

修理をご依頼になるときは

「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、なお異常があるときは、製品の使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。

この製品の故障・誤動作・不具合などによって発生した次に掲げる損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

- お客様または第三者がテープ・ディスクなどへ記録された内容の損害
- 録音・再生などお客様または第三者が製品利用の機会を逸したことによる損害

保証期間中は

保証期間中は保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドのサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理をさせていただきます。修理に際しましては保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎているときは

保証期間が過ぎているときは、修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

出張修理/持込修理

「出張修理」、「持込修理」のどちらが適用されるかは機種によって異なります。保証書の記載をご確認ください。出張修理を依頼される場合は、次のことをお知らせください。

- 製品名
- 製造番号 (Serial No.)
- お買い上げ年月日
- 故障の症状(できるだけ具体的に)
- ご住所(ご近所の目印等も併せてお知らせください)
- お名前、電話番号、訪問ご希望日

修理料金の仕組み

(有料修理の場合は、次の料金をいただきます)

- 技術料: 故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等の設備費や、一般管理費などが含まれています。
- 部品代: 修理に使用した部品の代金です。その他、修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
- 出張料: 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

お買い上げ店名

電話 () -

【規格】

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
読み取り方式	非接触光学式読み取り(半導体レーザー)
記録方式	磁界変調オーバーライト
音声圧縮方式	ATRAC (Adaptive ^{アダプティブ} TRansform ^{トランスフォーム} Acoustic ^{アコースティック} Coding ^{コーディング})
回転数	約400rpm ~ 900rpm (CLV)

【D/Aコンバーター】

D/Aコンバーター	1ビット(24 bit 相当)
オーバーサンプリング	8 fs (352.8 kHz)

【A/Dコンバーター】

A/Dコンバーター	4次 $\Delta \Sigma$ 方式+D.R.I.V.E.変換
サンプリング周波数	44.1kHz

【デジタルオーディオ性能】

周波数特性(再生時)	8Hz ~ 20 kHz
SN比(再生時)	112 dB 以上
ダイナミックレンジ(再生時)	96 dB 以上
総合ひずみ率(1 kHz, 再生時)	0.004 %以下
ワウ・フラッター(EIAJ)	測定限界以下
アナログ入力感度/入力インピーダンス	500mV / 22 k Ω
アナログ出力レベル/出力インピーダンス	2.0V / 300 Ω 以下
デジタル入力	
コアキシャル	0.5Vp-p/75 Ω
オプチカル(発光波長 660nm)	-15dBm ~ -21dBm
デジタル出力	
コアキシャル	0.5Vp-p/75 Ω
オプチカル(発光波長 660nm)	-15dBm ~ -21dBm

【電源部・その他】

電源電圧・電源周波数	AC 100 V 50 / 60Hz
定格消費電力(電気用品取締法に基づく表示)	16 W

DMF-7003(側板装着なし)

最大外形寸法	幅 270 mm
	高さ 104mm(ピンスパイク装着時、最小高さ)
	奥行 328 mm
質量(重量)	4.4 kg(正味)

DMF-7003G(側板装着あり)

最大外形寸法	幅 292 mm
	高さ 104mm(ピンスパイク装着時、最小高さ)
	奥行 328 mm
質量(重量)	4.9 kg(正味)



- これらの定格およびデザインは、技術開発に伴い予告なく変更することがあります。
- 極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂 1-14-6

- 商品および商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
 お客様相談室 (東京) 電話 (03) 3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台 3-17-9
 (大阪) 電話 (06) 357-5335 〒534-0024 大阪府都島区東野田町 1-20-5(大阪京橋第一生命ビル)
- アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、各営業所にご相談ください。